

2.9.51		pattern/syndrome of dampness-heat in the spleen	濕熱蘊脾證		腹部膨満、悪心、嘔吐、厭食、四肢が重い感じ、または黄疸、黄・膩苔を伴う紅舌および数・濡脈を特徴とする証。
2.9.52	脾胃濕熱證; 中焦濕熱證	pattern/syndrome of dampness-heat in the spleen and stomach	脾胃濕熱證		心窩部・腹部膨満、厭食、悪心、嘔吐、倦怠感、身体が重い感じ、または皮膚の明るい黄色の変色を伴う黄疸および白睛、顆粒が密な黄・膩苔を特徴とする証。 pattern/syndrome of dampness-heat in the middle energizer と同義。
2.9.52	脾胃濕熱證; 中焦濕熱證	pattern/syndrome of dampness-heat in the spleen and stomach	中焦濕熱證		心窩部・腹部膨満、厭食、悪心、嘔吐、倦怠感、身体が重い感じ、または皮膚の明るい黄色の変色を伴う黄疸および白睛、顆粒が密な黄・膩苔を特徴とする証。 pattern/syndrome of dampness-heat in the middle energizer と同義。
2.9.53	脾胃虚寒證; 脾胃腸虚證	spleen-stomach deficiency cold pattern/syndrome	脾胃虚寒證		脾・胃を温める陽気の不足とともに内寒により生じる証で、胃全体の冷えおよび疼痛とともに、厭食、腹満、噯気、希薄な液体の嘔吐、久泄、倦怠感および四肢の冷えが発現する。 spleen-stomach yin deficiency cold pattern/syndrome と同義。
2.9.53	脾胃虚寒證; 脾胃腸虚證	spleen-stomach deficiency cold pattern/syndrome	脾胃腸虚證		脾・胃を温める陽気の不足とともに内寒により生じる証で、胃全体の冷えおよび疼痛とともに、厭食、腹満、噯気、希薄な液体の嘔吐、久泄、倦怠感および四肢の冷えが発現する。 spleen-stomach yang deficiency pattern/syndrome と同義。
2.9.54		spleen-stomach weakness pattern/syndrome	脾胃虚弱證		脾気虚と胃気虚が組み合わさった証。
2.9.55		spleen-stomach yin deficiency pattern/syndrome	脾胃陰虚證		脾・胃を潤す陰津の不足により生じる証で、口乾および喉の乾燥、空腹であるが食物に対する欲求がない、または嘈雜、または腹部膨満および隠痛、または噯およびしゃっくり、るいそう、便秘、潤いのない紅舌および細・数脈が発現する。
2.9.56		spleen-stomach disharmony pattern/syndrome	脾胃不和證		気機のうっ滞により脾および胃の機能障害が生じることに起因する証で、心窩部の閉塞感および膨満、厭食、便澁、噯気、腹鳴および弦脈が発現する。
2.9.57		Gastrointestinal Pattern Identification/ Syndrome	胃腸病辨證		胃・腸の疾病を取り扱う臓の 弁証論治。
2.9.58		stomach deficiency pattern/syndrome	胃虚證		胃の気、陽、陰の虚を含む種々の胃虚の証の総称。
2.9.59		stomach qi deficiency pattern/syndrome	胃気虚證		圧迫すると消失する心窩部の陰痛、厭食、淡白舌および弱脈を特徴とする証。
2.9.60	胃陽虚證; 胃虚寒證	stomach yang deficiency pattern/syndrome	胃陽虚證		胃を温める陽気の不足により生じる証で、温め圧迫すると軽減する持続性の心窩部痛、摂食量減少、胃の閉塞感、四肢の冷えを伴う悪寒、白苔を伴う淡白舌および沈・遅・弱脈を特徴とする。
2.9.60	胃陽虚證; 胃虚寒證	stomach yang deficiency pattern/syndrome	胃虚寒證		胃を温める陽気の不足により生じる証で、温め圧迫すると軽減する持続性の心窩部痛、摂食量減少、胃の閉塞感、四肢の冷えを伴う悪寒、白苔を伴う淡白舌および沈・遅・弱脈を特徴とする。
2.9.61	胃陰虚證; 胃陰虧虚證	stomach yin deficiency pattern/syndrome	胃陰虚證		胃を潤す陰津の不足により生じる証で、口乾、口渇、厭食、便秘、噯および紅・光剥舌を特徴とする。
2.9.61	胃陰虚證; 胃陰虧虚證	stomach yin deficiency pattern/syndrome	胃陰虧虚證		胃を潤す陰津の不足により生じる証で、口乾、口渇、厭食、便秘、噯および紅・光剥舌を特徴とする。
2.9.62		stomach cold pattern/syndrome	胃寒證		胃寒が実型または虚型のいずれかである証。
2.9.63		stomach excess cold pattern/syndrome	胃實寒證		胃が寒邪に攻撃されるときに生じる証で、通常、冷感を伴う急性の重度の心窩部痛、水状の津の嘔吐、四肢の冷えを伴う悪寒および白苔が発現する。
2.9.64	胃熱證; 胃火證; 胃熱壅盛證; 胃火熾盛證	stomach heat pattern/syndrome	胃熱證		熱邪による胃障害または熱い刺激物の過食により生じる証で、主に口渇、口臭、過食症、暗黒色の尿を伴う乏尿、便秘および口の潰瘍または歯肉炎、黄苔を伴う紅舌および数脈が発現する。(intense) stomach fire pattern/syndrome と同義。
2.9.64	胃熱證; 胃火證; 胃熱壅盛證; 胃火熾盛證	stomach heat pattern/syndrome	胃火證		熱邪による胃障害または熱い刺激物の過食により生じる証で、主に口渇、口臭、過食症、暗黒色の尿を伴う乏尿、便秘および口の潰瘍または歯肉炎、黄苔を伴う紅舌および数脈が発現する。(intense) stomach fire pattern/syndrome と同義。
2.9.64	胃熱證; 胃火證; 胃熱壅盛證; 胃火熾盛證	stomach heat pattern/syndrome	胃熱壅盛證		熱邪による胃障害または熱い刺激物の過食により生じる証で、主に口渇、口臭、過食症、暗黒色の尿を伴う乏尿、便秘および口の潰瘍または歯肉炎、黄苔を伴う紅舌および数脈が発現する。(intense) stomach fire pattern/syndrome と同義。
2.9.64	胃熱證; 胃火證; 胃熱壅盛證; 胃火熾盛證	stomach heat pattern/syndrome	胃火熾盛證		熱邪による胃障害または熱い刺激物の過食により生じる証で、主に口渇、口臭、過食症、暗黒色の尿を伴う乏尿、便秘および口の潰瘍または歯肉炎、黄苔を伴う紅舌および数脈が発現する。(intense) stomach fire pattern/syndrome と同義。

2.9.65		pattern/syndrome of (blood) stasis in the stomach collateral	瘀阻胃絡證		瘀血が胃の絡脈を閉塞するときに生じる証で、圧迫すると悪化する心窩部の刺痛または心窩部の触知可能な腫瘤、または血餅の混じった暗黒色の血の嘔吐、紫斑のある舌および不規則に変わる弦脈を特徴とする。
2.9.66	腸燥津虧證；腸燥津傷證	pattern/syndrome of intestinal dryness and fluid depletion	腸燥津虧證		排出困難な乾燥した便、少ない排便回数、腹部膨満および腹痛、下腹部の触知可能な腫瘤、口渇、不十分な潤苔および黄・燥苔を伴う紅舌、および不規則に変わる弦脈を特徴とする証。
2.9.66	腸燥津虧證；腸燥津傷證	pattern/syndrome of intestinal dryness and fluid depletion	腸燥津傷證		排出困難な乾燥した便、少ない排便回数、腹部膨満および腹痛、下腹部の触知可能な腫瘤、口渇、不十分な潤苔および黄・燥苔を伴う紅舌、および不規則に変わる弦脈を特徴とする証。
2.9.67		pattern/syndrome of blood deficiency and intestinal dryness	血虚腸燥證		血の虚により腸の湿潤性が枯渇することによって生じる証で、大便乾燥による排便困難またはこれに伴う便血、面色蒼白および淡白舌、および不規則に変わる細脈を特徴とする。
2.9.68		pattern/syndrome of cold stagnating in stomach and intestinal dampness-heat	寒邪胃腸證		寒邪が胃腸に侵入し、伝化障害をきたしたときに生じる証で、通常、冷えると悪化し、温めると軽減する心窩部および腹部の突然の疼痛、悪心、嘔吐、口渇を伴わない口淡、水瀉、四肢の冷えを伴う悪寒、白苔および弦・緊脈が発現す
2.9.69		pattern/syndrome of intestinal dampness-heat	腸道濕熱證		膿性の便血の排出とともに、腹痛、裏急後重、少量の暗黒色の尿、黄・膩苔および数・滑脈を特徴とする症候群。
2.9.70		pattern/syndrome of intestinal heat and bowel excess	腸熱腑實證		壮熱または夕方の発熱、腹満、腹痛、圧痛および押されるのを嫌がる、便秘または熱結、口渇または意識障害および譫妄、短時間の赤色尿の排出、厚・黄・燥苔を伴う紅舌および力強い沈・数脈を特徴とする証。
2.9.71		gastrointestinal qi stagnation pattern/	胃腸氣滯證		心窩部および腹部の脹痛または遊走痛、噯気、放屁により軽減する腹鳴、悪心、瀉下不爽、厚苔および弦脈を特徴とする証。
2.9.72		pattern/syndrome of yin deficiency with stirring	陰虛動風證		陰津の虚により滋養の経絡が枯渇し、内風が刺激されるときに生じる証で、四肢のれん縮とともに、めまい、耳鳴、頬部潮紅および乾いた紅舌を特徴とする。
2.9.73		pattern/syndrome of fluid retention in the stomach and intestines	飲留胃腸證		胃腸における津の停滞により生じる証で、胃の振水音を伴う心窩部の脹満、腸の腹鳴、口渇を伴わない口淡、白・膩苔および沈・滑脈を特徴とする。
2.9.74		pattern/syndrome of worms accumulating in the intestines	蟲積腸道證		小腸の寄生虫病、とくに回虫症により生じる証で、時として腫瘤形成または排便時の回虫の排出を伴う腹痛発作、睡眠中の歯ぎしり、または唇内部に粟粒状の白斑がみられることを特徴とする。
2.9.75		large intestinal fluid deficiency pattern/	大腸津虧證		便秘または排便困難とともに、喉の乾燥およびまばらな舌苔を伴う紅舌を特徴とする証。
2.9.76		large intestinal heat bind pattern/syndrome	大腸熱結證		腹痛および圧痛を伴う便秘、黄色の燥苔および力強い沈脈を特徴とする証。
2.9.77		large intestinal dampness-heat pattern/syndrome	大腸濕熱證		膿性の便血の排出、腹痛、裏急後重、少量の暗黒色の尿、黄・膩苔および数・滑脈を特徴とする証。
2.9.78		Liver-gallbladder Diseases Pattern Identification/ Syndrome Differentiation	肝膽病辨證		肝・胆の疾病を取り扱う臓の弁証論治。
2.9.79	肝氣鬱結證；肝鬱證	liver qi depression pattern/syndrome	肝氣鬱結證		鬱病、頻繁な太息、下肋部または下腹部の膨満または遊走痛および弦脈を特徴とする証。女性では乳房脹痛および月経不調が認められる。liver qi stagnation/ constraint pattern/syndrome
2.9.79	肝氣鬱結證；肝鬱證	liver qi depression pattern/syndrome	肝鬱證		鬱病、頻繁な太息、下肋部または下腹部の膨満または遊走痛および弦脈を特徴とする証。女性では乳房脹痛および月経不調が認められる。liver qi stagnation/ constraint pattern/syndrome
2.9.80	肝血虚證；肝血虧虚證	liver blood deficiency pattern/syndrome	肝血虚證		面色萎黄、視覚障害、失眠、過少月経または無月経、淡白な舌および唇を特徴とする証。
2.9.80	肝血虚證；肝血虧虚證	liver blood deficiency pattern/syndrome	肝血虧虚證		面色萎黄、視覚障害、失眠、過少月経または無月経、淡白な舌および唇を特徴とする証。
2.9.81	肝陰虚證；肝陰虧虚證	liver yin deficiency pattern/syndrome	肝陰虚證		陰津の不足により肝を潤し滋養することができなくなることから生じる証で、めまい、頭痛、目昏、眼の乾燥、失眠、口渇、喉の乾燥、少量の舌苔および細脈を特徴とする。
2.9.81	肝陰虚證；肝陰虧虚證	liver yin deficiency pattern/syndrome	肝陰虧虚證		陰津の不足により肝を潤し滋養することができなくなることから生じる証で、めまい、頭痛、目昏、眼の乾燥、失眠、口渇、喉の乾燥、少量の舌苔および細脈を特徴とする。
2.9.82		liver yang deficiency pattern/syndrome	肝陽虚證		陽気が弱まり肝機能が低下したことにより生じる証で、鬱病、驚きやすい、下肋部の膨満および重圧感、四肢の冷えを伴う畏寒、めまい、目昏、白苔を伴う淡白舌および沈・遲・弱脈を特徴とする。

2.9.83	肝風内動證；肝風證	pattern/syndrome of internal stirring of liver	肝風内動證		抽搐、顫震または拘攣を特徴とする証。liver wind pattern/syndromeとしても知られる。
2.9.83	肝風内動證；肝風證	pattern/syndrome of internal stirring of liver	肝風證		抽搐、顫震または拘攣を特徴とする証。liver wind pattern/syndromeとしても知られる。
2.9.84		pattern/syndrome of liver yang transforming into wind	肝陽化風證		転倒傾向または突然の厥発作を伴うめまい、頭を振る、四肢の顫震、いらいらする、怒りっぽい、顔面潮紅、紅舌および弦脈を特徴とする証。
2.9.85		pattern/syndrome of liver depression and qi	肝鬱氣滯證		抑うつ気分、頻繁な太息、異物が喉に詰まった感じ、胸部または下腹部の膨満感、重圧感および竅痛、乳房の脹痛および月経不順（女性）、白苔および弦脈を特徴とする証。
2.9.86	肝鬱血瘀證；肝血瘀滯證	pattern/syndrome of liver depression and blood stasis	肝鬱血瘀證		うつ滞した肝気により肝で血瘀が引き起こされるときに生じる証で、抑うつ気分、下肋部の膨満または刺痛、下肋部または下腹部の腫瘤形成、紫舌または紫斑のある舌、および不規則に変わる弦脈を特徴とする。
2.9.86	肝鬱血瘀證；肝血瘀滯證	pattern/syndrome of liver depression and blood stasis	肝血瘀滯證		うつ滞した肝気により肝で血瘀が引き起こされるときに生じる証で、抑うつ気分、下肋部の膨満または刺痛、下肋部または下腹部の腫瘤形成、紫舌または紫斑のある舌、および不規則に変わる弦脈を特徴とする。
2.9.87		pattern/syndrome of depressed liver qi transforming into fire	肝鬱化火證		下肋部の膨満感、疼痛および灼熱感、いらいらする、怒りっぽい、口苦および口乾、黄苔を伴う紅舌および数・弦脈を特徴とする証。pattern/syndrome of stagnated liver qi transforming into fireと同義。
2.9.88		pattern/syndrome of liver fire flaming upward	肝火上炎證		頭痛、めまい、ブンブンという音が聞こえる耳鳴、聴覚障害、目の充血、精神的ないらいら、口苦、黄苔、数・弦脈、および重症例では尿血、咯血または鼻血を特徴とする証。
2.9.89		intense liver fire pattern/syndrome	肝火熾盛證		脇痛、口乾および口苦、苦い津の嘔吐、いらいらする、怒りっぽい、失眠または夢に邪魔される睡眠、顔面潮紅、目の充血、便秘、暗黒色の尿、黄苔を伴う紅舌および数・弦脈を特徴とする証。
2.9.90		pattern/syndrome of ascendant hyperactivity of liver yang	肝陽上亢證		めまい、頭痛、顔面潮紅、目昏、耳鳴、口苦および弦脈を特徴とする証。
2.9.91		liver-gallbladder dampness-heat pattern/syndrome	肝膽濕熱證		発熱および寒気、黄疸、下肋部痛および腹痛、口苦、悪心および数・滑脈を特徴とする証。
2.9.92		pattern/syndrome of cold stagnating in the liver meridian	寒滯肝脈證		下腹および臍の冷感を伴う牽引痛のような、肝経に関連する領域での拘攣性症状を特徴とする証。
2.9.93		pattern/syndrome of dampness-heat in the liver meridian	肝經濕熱證		臌病、驚きやすさ、失眠および夢の多い睡眠、心煩、胸部および下肋部の重圧感および膨満感、頻繁な太息、めまい、口苦、悪心、嘔吐、白・膩苔および数・滑脈を特徴とする証。
2.9.94		gallbladder heat pattern/syndrome	膽熱證		いらいらする、怒りっぽい、下肋部膨満、口苦または耳痛、耳鳴、失眠、黄苔を伴う紅舌を特徴とする証。
2.9.95		pattern/syndrome of depressed gallbladder with harassing phlegm	膽鬱痰擾證		臌病、驚きやすさ、失眠および夢の多い睡眠、心煩、胸部および下肋部の重圧感および膨満感、頻繁な太息、めまい、口苦、悪心、嘔吐、白膩苔および弦脈を特徴とする証。pattern/syndrome of stagnated gallbladder with harassing phlegmと同義。
2.9.96	膽氣虚證；膽氣虧虚證	gallbladder qi deficiency pattern/	膽氣虚證		パニック、疑い深い、太息、神経質、いらいらする、倦怠感、めまいおよび失眠を特徴とする証。
2.9.96	膽氣虚證；膽氣虧虚證	gallbladder qi deficiency pattern/	膽氣虧虚證		パニック、疑い深い、太息、神経質、いらいらする、倦怠感、めまいおよび失眠を特徴とする証。
2.9.97		pattern/syndrome of worms harassing the gallbladder	蟲擾膽腑證		面色蒼白、手足厥冷、苦みのある液体または回虫の嘔吐を伴う耐えがたい腹痛発作を特徴とする証。
2.9.98		Kidney-bladder Diseases Pattern Identification/ Syndrome Differentiation	腎膀胱病辨證		腎・膀胱の疾病を取り扱う臓の弁証論治。
2.9.99		kidney deficiency	腎虚證		腎の気、陰、陽の虚を含む腎虚の証。
2.9.100		kidney essence insufficiency pattern/	腎精不足證		発達遅滞（小児）、早老、生殖機能低下、耳鳴、齒のゆるみ、脱毛症および健忘症（成人）を特徴とする証。
2.9.101	腎氣虚證；腎氣虧虚證	kidney qi deficiency pattern/syndrome	腎氣虚證		めまい、健忘症、耳鳴、背痛、性欲減退および弱脈を特徴とする証。

2.9.101	腎氣虚証; 腎氣虧虚証	kidney qi deficiency pattern/syndrome	腎氣虧虚証		めまい、健忘症、耳鳴、背痛、性欲減退および弱脈を特徴とする証。
2.9.102		kidney qi insecurity pattern/syndrome	腎氣不固証		小便頻数、排尿後尿滴下、小便失禁または大便滑脱、夢精または早泄（男性）、月経血の持続性滴下または流産傾向（女性）、背部および膝の酸痛、弱脈を特徴とする証。
2.9.103	腎陰虚証; 腎陰虧虚証	kidney yin deficiency pattern/syndrome	腎陰虚証		腰痛、倦怠感、めまい、耳鳴、夢精（男性）、過少月経（女性）、るいそう、喉の乾燥、口渴、頬部潮紅、手掌および足底の熱感、午後の発熱、盗汗、舌苔がほとんどまたはまったくない紅舌および数・細脈を特徴とする証。
2.9.103	腎陰虚証; 腎陰虧虚証	kidney yin deficiency pattern/syndrome	腎陰虧虚証		腰痛、倦怠感、めまい、耳鳴、夢精（男性）、過少月経（女性）、るいそう、喉の乾燥、口渴、頬部潮紅、手掌および足底の熱感、午後の発熱、盗汗、舌苔がほとんどまたはまったくない紅舌および数・細脈を特徴とする証。
2.9.104		pattern/syndrome of kidney yin deficiency with fire effulgence	腎陰虚火 旺証		潮熱、盗汗、頬部潮紅、胸部、手掌および足底の煩熱、夢精、早泄、性欲亢進症、腰痛、耳鳴、潤いのない黄苔を伴う紅舌および数・細脈を特徴とする証。
2.9.105	腎陽虚証; 腎陽虧虚証	kidney yang deficiency pattern/syndrome	腎陽虚証		腎陽の低下により身体を温められないときに生じる証で、悪寒、四肢の冷え、無気力、腰部・膝の脱力および痛み、遺精または陽痿（男性）および不感症または不妊（女性）、夜間頻尿、白苔および尺部の弱脈を特徴とする。
2.9.105	腎陽虚証; 腎陽虧虚証	kidney yang deficiency pattern/syndrome	腎陽虧虚証		腎陽の低下により身体を温められないときに生じる証で、悪寒、四肢の冷え、無気力、腰部・膝の脱力および痛み、遺精または陽痿（男性）および不感症または不妊（女性）、夜間頻尿、白苔および尺部の弱脈を特徴とする。
2.9.106		pattern/syndrome of kidney failing to receive qi	腎不納氣証		呼気の延長を伴う喘、無力性咳嗽および弱々しい声を特徴とする証。
2.9.107		pattern/syndrome of kidney deficiency with water flood	腎虚水泛証		腎気不足により気化できず、水があふれだすときに生じる証で、水腫（とくに下肢）とともに乏尿、耳鳴、背部および膝の酸痛、白・滑苔を伴う淡白舌および弱脈を特徴とする。
2.9.108		kidney meridian cold-dampness pattern/	腎經寒濕証		腎陽の虚と寒湿の注入により生じる証で、腰部・膝が重い感じ、冷え、疼痛および動きの制限、悪寒および四肢の冷え、白・膩苔および濡・緩脈を特徴とする。
2.9.109		bladder deficiency cold pattern/	膀胱虚寒証		腎陽の虚により膀胱の気化が障害されるときに生じる証で、小便頻数、小便失禁または尿滴下、下腹部の冷感、白・潤苔および弱脈を特徴とする。
2.9.110		bladder dampness-heat pattern/	膀胱濕熱証		膀胱を攻撃し、そこに蓄積する湿熱により生じる証で、頻尿および尿意切迫、有痛排尿困難、尿濁または尿血、黄・膩苔を伴う紅舌および数脈を特徴とする。
2.9.111		pattern/syndrome of heat accumulating in the bladder	熱積膀胱証		下腹の脹満、有痛排尿困難、小便頻数および寒気のない発熱を特徴とする証。
2.9.112		Combined Visceral Pattern Identification/ Syndrome Differentiation	臟腑兼病辨 証		2つ以上の臓器の疾病を同時に取り扱う弁証論治。
2.9.113		heart-kidney non-interaction pattern/syndrome	心腎不交 証		心・腎の陰津の虚と、相対的に優勢な陽により生じる証で、落ち着きのなさ、失眠、心悸、めまい、耳鳴、背部および膝の酸痛、遺精、胸部、手掌および足底の煩熱、盗汗、少量の舌苔を伴う紅舌および数・細脈を特徴とする。
2.9.114		heart-kidney yang deficiency pattern/	心腎陽虚証		陽気不足により、心・腎の両者を温め活性化できないときに生じる証で、心悸、悪寒、四肢が暖かくない、小便不利、脚の水腫、腰部および膝の酸痛および冷え、白・膩苔および弱・沈脈を特徴とする。
2.9.115		heart-lung qi deficiency pattern/	心肺氣虚証		心悸、胸部圧迫感、咳嗽、激しい身体活動により悪化する喘および短気、希薄な咯出物、めまい、無気力および乏力、弱々しい声、自汗、淡白舌および弱脈を特徴とする証。
2.9.116		pattern/syndrome of dual deficiency of the heart and spleen	心脾兩虚証		心悸、健忘症、失眠または夢に邪魔される睡眠、食欲不振、腹部脹満、下痢、倦怠感、面色萎黄、淡白・嫩舌および細・弱脈を特徴とする証。
2.9.117		heart-liver blood deficiency pattern/syndrome	心肝血虚 証		心悸、健忘症、失眠、夢に邪魔される睡眠、めまい、目昏、面色蒼白、四肢の麻木、つやのない爪、少量の薄い色の月経または無月経（女性）、淡白舌および細脈を特徴とする証。
2.9.118		lung-kidney qi deficiency pattern/syndrome	肺腎氣虚証		喘、喘息、短気、自汗、乏力、腰部の酸痛および跛行、および希薄な痰を伴う咳嗽を特徴とする証。
2.9.119		lung-kidney yin deficiency pattern/syndrome	肺腎陰虚証		肺・腎の陰津が不足し、内熱が吉まされることにより生じる証で、少量の咯出物を伴う咳嗽、口および喉の乾燥または嘶啞、腰部の酸痛および跛行、骨蒸、潮熱、頬部潮紅、盗汗、夢精（男性）および月経不調（女性）、少量の舌苔を伴う紅舌および速・細脈を特徴とする。

2.9.120	肺腎陽虛證; 水寒射肺證	lung-kidney yang deficiency pattern/syndrome	肺腎陽虛證	腎陽の衰退により水があふれ出し、肺が苦しめられることにより生じる証で、四肢の冷えを伴う悪寒、大量の白色の希薄な痰の咯出を伴う咳嗽および喘、四肢の水腫、乏尿、白・滑苔を伴う膨らんだ淡白舌および弱脈を特徴とする。
2.9.120	肺腎陽虛證; 水寒射肺證	lung-kidney yang deficiency pattern/syndrome	水寒射肺證	腎陽の衰退により水があふれ出し、肺が苦しめられることにより生じる証で、四肢の冷えを伴う悪寒、大量の白色の希薄な痰の咯出を伴う咳嗽および喘、四肢の水腫、乏尿、白・滑苔を伴う膨らんだ淡白舌および弱脈を特徴とする。
2.9.121	脾肺氣虛證; 脾肺兩虛證	spleen-lung qi deficiency pattern/syndrome	脾肺氣虛證	厭食、軟便、腹部膨満、喘を伴う長引く咳嗽および短気、大量の希薄な痰の咯出、弱々しい声、話すのが億劫、蒼白のつやのない顔色、白・滑苔を伴う淡白舌および弱・細脈を特徴とする証。
2.9.121	脾肺氣虛證; 脾肺兩虛證	spleen-lung qi deficiency pattern/syndrome	脾肺兩虛證	厭食、軟便、腹部膨満、喘を伴う長引く咳嗽および短気、大量の希薄な痰の咯出、弱々しい声、話すのが億劫、蒼白のつやのない顔色、白・滑苔を伴う淡白舌および弱・細脈を特徴とする証。
2.9.122		pattern/syndrome of liver fire invading the lung	肝火犯肺證	口苦、めまいおよび目の充血、いらいらする、怒りっぽい、胸部および下肋部の遊走痛、粘稠な咯出物または咯血を伴う咳嗽、紅舌および速・緊・弦脈を特徴とする証。
2.9.123	肝氣犯胃證; 肝胃不和證	pattern/syndrome of liver qi invading the	肝氣犯胃證	めまい、脇痛、いらいらする、心窩部の膨満感および疼痛、厭食、噯気、悪心、嘔吐および弦脈を特徴とする証。 liver-stomach disharmony pattern/syndromeとしても知られる。
2.9.123	肝氣犯胃證; 肝胃不和證	pattern/syndrome of liver qi invading the	肝胃不和證	めまい、脇痛、いらいらする、心窩部の膨満感および疼痛、厭食、噯気、悪心、嘔吐および弦脈を特徴とする証。 liver-stomach disharmony pattern/syndromeとしても知られる。
2.9.124	肝鬱脾虛證; 肝脾不調證	pattern/syndrome of liver depression and spleen deficiency	肝鬱脾虛證	下肋部および腹部の疼痛を伴う膨満感、抑うつ気分、頻繁な太息、厭食、不快な下痢または排便後に軽減する腹痛、放屁を伴う腹鳴および白・膩苔を特徴とする証。 pattern/syndrome of liver stagnation and spleen deficiencyと同義。 liver-spleen disharmony pattern/syndromeとしても知られる。
2.9.124	肝鬱脾虛證; 肝脾不調證	pattern/syndrome of liver depression and spleen deficiency	肝脾不調證	下肋部および腹部の疼痛を伴う膨満感、抑うつ気分、頻繁な太息、厭食、不快な下痢または排便後に軽減する腹痛、放屁を伴う腹鳴および白・膩苔を特徴とする証。 pattern/syndrome of liver stagnation and spleen deficiencyと同義。 liver-spleen disharmony pattern/syndromeとしても知られる。
2.9.125		liver-kidney yin deficiency pattern/syndrome	肝腎陰虛證	肝・腎の陰津が不足し、内熱が苦しめられることにより生じる証で、めまい、目昏、耳鳴、健忘症、失眠および夢に邪魔される夢、脇痛、腰部の酸痛および跛行、頬部潮紅、胸部、手掌および足底の熱感、盗汗、夢精（男性）および月経過少（女性）、少量の舌苔を伴う紅舌および速・細脈を特徴とする証。
2.9.126		spleen-kidney yang deficiency pattern/syndrome	脾腎陽虛證	脾・腎の陽気の不足とともに内寒により生じる証で、面色晄白、四肢の冷えを伴う悪寒、腰部および下腹の冷えおよび疼痛、久泄、または小便不利を伴う水腫、白・滑苔を伴う膨らんだ淡白舌、および力強い遅・沈脈を特徴とする証。
2.9.126		spleen-kidney yang deficiency pattern/syndrome	脾腎虛寒證	脾・腎の陽気の不足とともに内寒により生じる証で、面色晄白、四肢の冷えを伴う悪寒、腰部および下腹の冷えおよび疼痛、久泄、または小便不利を伴う水腫、白・滑苔を伴う膨らんだ淡白舌、および力強い遅・沈脈を特徴とする証。
2.10.0		Various Pattern Identification/ Syndorome Differentiation	各科辨證	
2.10.1		pattern/syndrome of insecurity of thoroughfare and conception vessels	衝任不固證	月経の持続性滴下、大量の子宮出血または胎動不安を特徴とする証。
2.10.2		pattern/syndrome of disharmony of thoroughfare and conception vessels	衝任失調證	月経不調および下腹部の膨満感および疼痛を特徴とする証。
2.10.3		pattern/syndrome of cold congealing in the	寒凝胞宮證	下腹部の冷えおよび疼痛、暗黒色の月経を伴う月経困難症または月経後期、白苔および沈・緊脈を特徴とする証。
2.10.4		pattern/syndrome of (blood) stasis obstructing the uterus	瘀阻胞宮證	う腫瘍形成、または月経後期に少量の黒紫色の血および血餅の排出を伴う、または月経停止、または異常子宮出血、黒紫舌または紫斑のある舌、および不規則に変わる弦脈を特徴とする証。
2.10.5		uterine deficiency cold pattern/syndrome	胞宮虛寒證	腎陽の虚により胞を温められなくなることに起因する証で、四肢の冷えを伴う悪寒、腰部および膝の酸痛および冷え、温め圧迫すると緩和する下腹部の隠痛、色が薄く希薄な月経、または透明で希薄な帯下、または不妊、または流産、ならびに面色蒼白、白苔を伴う淡白舌および沈・弱脈が発現する。
2.10.6		uterine dampness-heat pattern/	胞宮濕熱證	外陰部の掻痒およびびらんに伴う大量の粘稠な悪臭のある黄帯、黄・膩苔を伴う紅舌および数・滑脈を特徴とする証。

2.10.7	pattern/syndrome of accumulated heat in the uterus	胞宮積熱證		下腹部の灼痛、月経周期の短縮および大量の鮮紅色の月経、または粘稠な悪臭のある黄帯、黄苔を伴う紅舌および数脈を特徴とする証。
2.10.8	pattern/syndrome of dampness-heat obstructing the essence chamber	濕熱阻滯精室證		会陰部の熱感および疼痛、陰囊の搔痒およびびらん、遺精または膿精液、排尿困難または有痛性排尿、黄・膩苔を伴う紅舌および数・滑脈を特徴とする証。
2.10.9	pattern/syndrome of phlegm obstructing the essence chamber	痰阻精室證		陽痿、希薄な精液、性欲減退、肥満、乏力、白・膩苔を伴う淡白舌および滑脈を特徴とする証。
2.10.10	pattern/syndrome of (blood) stasis obstructing the essence chamber	瘀阻精室證		部位が固定された会陰部の刺痛（圧迫されるのを嫌がる）または腫瘤形成、または精子過少症および陽痿または有痛性射精または血精液症を特徴とする証。
2.10.11	pattern/syndrome of wind striking the meridians and collaterals	風中經絡證		麻木、搔痒または口眼喎斜の卒発を特徴とする証。
2.10.12	pattern/syndrome of wind-cold assailing the collaterals	風寒襲絡證		悪寒、拘急または麻木を伴う四肢の疼痛および冷感、および紫色または蒼白色の皮膚、白苔および弦・緊脈を特徴とする証。
2.10.13	pattern/syndrome of wind-cold obstructing the collaterals	風寒阻絡證		寒邪により表層の経絡（浮絡）の血の流れが妨げられることにより生じる証で、悪寒、冷え、疼痛、四肢の拘急または麻木、および黒紫色または蒼白色の皮膚、淡白苔および弦・緊脈が発現する。
2.10.14	pattern/syndrome of wind-prevailing migratory	風勝行痹證		筋、骨、関節における風寒湿邪（風が優勢）のうっ滞により生じる証で、関節の遊走痛のために関節運動が阻害され、薄・白苔および浮脈が発現する。
2.10.15	pattern/syndrome of cold-prevailing agonizing	寒勝痛痹證		筋、骨、関節における風寒湿邪（寒が優勢）のうっ滞により生じる証で、部位が固定された関節の冷痛、白苔および弦・緊脈が発現する。pattern/syndrome of cold-prevailing painful arthralgiaと同義。
2.10.16	pattern/syndrome of dampness-prevailing fixed arthralgia	濕勝著痹證		筋、骨、関節における風寒湿邪（湿が優勢）のうっ滞により生じる証で、部位が固定された関節の疼痛、重い感じおよび腫脹、局所の肌膚麻木、白・膩苔、および滑脈または濡脈が発現する。
2.10.17	pattern/syndrome of heat-obstructing arthralgia	熱邪阻痹證		筋、骨、関節における風寒湿邪（熱が優勢）のうっ滞により生じる証で、局所の灼熱感、発赤および腫脹を伴う関節痛、黄苔および数・滑脈が発現する。
2.10.18	pattern/syndrome of stasis and stagnation due to traumatic injury	外傷瘀滯證		気および血の局所うっ滞を招く外傷に起因する証で、局所の斑状出血、疼痛および圧痛が発現する。
2.10.19	pattern/syndrome of damage to sinew and bone	損傷筋骨證		腱および骨の損傷を招く外傷に起因する証で、局所の腫脹、疼痛および運動障害を特徴とする。
2.10.20	pattern/syndrome of wind-cold invading the	風寒犯頭證		風・寒により悪化する項部および背部の疼痛を伴う頭痛、薄・白苔および浮・緊脈を特徴とする証。
2.10.21	pattern/syndrome of wind-heat invading the	風熱犯頭證		膨張感を伴う頭痛、発熱または悪風、口渇、顔面潮紅、紅色の舌尖および舌辺、薄・黄苔、および数・浮脈を特徴とする証。
2.10.22	pattern/syndrome of wind-dampness	風濕犯頭證		頭に何かをきつく巻き付けられたような頭痛、軽度の悪風および悪寒、身体および四肢が重い感じ、胸部が詰まった感じ、厭食、白・滑苔および濡脈を特徴とする証。
2.10.23	pattern/syndrome of static blood invading the	瘀血犯頭證		外傷により瘀血が頭部の脈を閉塞することにより生じる証で、部位が固定された持続性の鋭痛、めまい、健忘症、陰うつな顔、紫舌または紫斑のある舌、および弦・洪脈が発現する。
2.10.24	pattern/syndrome of phlegm turbidity	痰濁犯頭證		意識混濁に関連する頭痛、耳鳴、聴覚障害、目昏、胸部および心窩部の詰まった感じおよび圧迫感、痰/粘液の咯（吐）出、白膩苔および弦・滑脈を特徴とする証。
2.10.25	pattern/syndrome of liver fire invading the	肝火犯頭證		顔面潮紅に関連する重度の頭痛、目の充血、いらいらする、怒りっぽい、口苦、黄苔を伴う紅舌および数・弦脈を特徴とする証。
2.10.26	pattern/syndrome of wind-fire attacking the	風火攻目證		発熱に伴う目の充血、腫脹、疼痛および流涙、悪風および浮・数脈を特徴とする証。
2.10.27	pattern/syndrome of wind-dampness	風濕凌目證		眼瞼腫脹、流涙を伴う目の充血および搔痒、および羞明を特徴とする証。

2.10.28	pattern/syndrome of traumatic injury of ocular	外傷目絡證		黒紫色の変色を伴う眼瞼の腫脹または疼痛、または白睛の赤色（充血）または黒紫色の変色、または眼底出血を伴う目痛を特徴とする証。
2.10.29	pattern/syndrome of worm accumulation transforming into	蟲積化疳證		腸の寄生虫により目の滋養が枯渇するとき生じる証で、視覚障害、雀目、目の乾燥および羞明が発現する。
2.10.30	pattern/syndrome of liver fire blazing the ear	肝火燔耳證		疼痛を伴う耳張、鼓膜の閉塞または穿孔、または耳道からの膿および血の排出、これに伴う耳鳴、めまい、口苦、顔面潮紅および目の充血、心煩、怒りっぽい、黄苔を伴う紅舌および数・弦脈を特徴とする証。
2.10.31	pattern/syndrome of wind-heat invading the ear	風熱犯耳證		耳脹および耳の閉塞、鼓膜閉塞または耳の圧迫感、これに関連する耳鳴、頭痛、軽度の悪風および悪感を伴う発熱、薄・黄苔および数・浮脈を特徴とする証。
2.10.32	pattern/syndrome of dampness-heat invading the ear	濕熱犯耳證		耳道または耳介の発赤、腫脹、疼痛、びらん、浸出液、痂皮形成、または耳からの粘稠な黄色膿の排出、または耳鳴を伴う耳脹、黄・膩苔および数・滑脈を特徴とする証。
2.10.33	pattern/syndrome of phlegm-dampness attacking the ear	痰濕犯耳證		めまいに関連する耳脹および耳の圧迫、耳鳴、頭重感および悪心、または耳からの希薄な膿性分泌液の排出、聴覚障害および鼓膜を通して肉眼で認められる液体、滑・膩苔および弦・滑脈を特徴とする証。
2.10.34	pattern/syndrome of qi deficiency with hearing loss	氣虛耳竅失充證		正気が弱まり、清明な陽気が上行できないことにより生じる証で、蝉が鳴いているような耳鳴、聴覚障害、これに伴うめまい、乏力、短気、話すのが億劫、淡白舌および弱脈を特徴とする。 pattern/syndrome of hearing loss due to qi deficiency と同義。
2.10.35	pattern/syndrome of wind-cold invading the nose	風寒犯鼻證		水のような鼻汁による鼻づまりまたは鼻の搔痒と噴嚏、蒼白な鼻粘膜および希薄な透明の分泌液、これに伴う悪風および悪寒、薄・舌苔および浮・緊脈を特徴とする証。
2.10.36	pattern/syndrome of wind-heat invading the nose	風熱犯鼻證		鼻の閉塞および鼻汁、粘稠な分泌液を伴う鼻甲介の腫脹および粘膜充血、嗅覚障害、ならびに発熱および軽度の悪風および悪寒、薄・黄苔および浮・数脈を特徴とする証。
2.10.37	pattern/syndrome of qi deficiency with loss of smell	氣虛鼻竅失充證		透明な鼻汁を伴う鼻閉塞および頻繁な噴嚏、および蒼白な腫脹した鼻甲介、およびめまい、乏力、短気、話すのが億劫、淡白舌および弱脈を特徴とする証。 pattern/syndrome of loss of smell due to qi deficiency と同義。
2.10.38	pattern/syndrome of yin deficiency with dryness of the nose	陰虛鼻竅失濡證		灼熱感を伴う鼻腔拡大、鼻粘膜乾燥、鼻甲介萎縮および痂皮または血の混じった少量の粘液排出、または鼻血、喉および口の乾燥、頬部潮紅を伴う潮熱、燥苔を伴う舌乾および数・細脈を特徴とする証。
2.10.39	pattern/syndrome of wind-cold assailing the throat	風寒襲喉證		疼痛、搔痒および軽度の腫脹が認められ、暗赤色に変色した咽喉およびこれに伴う嘔声、発熱、悪寒、無汗、鼻づまりおよび浮・緊脈を特徴とする証。
2.10.40	pattern/syndrome of wind-heat invading the throat	風熱侵喉證		喉の疼痛および腫脹または扁桃腺の肥大およびうっ血、ならびに嚥下時の不快感および嘶嘎、発熱、軽度の悪風および悪寒、軽度の口渴、薄・黄苔および数・浮脈を特徴とする証。
2.10.41	pattern/syndrome of toxic heat attacking the throat	毒熱攻喉證		喉の発赤、腫脹および疼痛に伴う嚥下困難、または口臭を伴う潰瘍および化膿、激しい発熱、口渴、黄苔を伴う紅舌および力強い数脈を特徴とする証。
2.10.42	pattern/syndrome of qi stagnating and phlegm congealing in the throat	氣滯痰凝咽喉證		抑うつ気分、喉の異物による不快感、咽頭粘膜の腫脹、膩苔および弦・滑脈を特徴とする証。
2.10.43	pattern/syndrome of stomach fire blazing the gums	胃火燔齦證		歯間からの血および膿性浸出液を伴う歯肉の発赤、腫脹および疼痛、口渴、口臭、便秘、黄苔を伴う紅舌および数脈を特徴とする証。
2.10.44	pattern/syndrome of dampness-heat steaming the gums	濕熱蒸齦證		熱、甘味、酸味により疼痛が悪化する歯の酸痛または齲齒、または歯肉の発赤または腫脹、口臭、黄・膩苔を伴う紅舌および数・滑脈を特徴とする証。
2.10.45	pattern/syndrome of deficiency fire scorching the gums	虛火灼齦證		歯根の露出を伴う歯肉の乾燥および歯挺、隠痛を伴う歯のゆるみ、これに関連する胸部、手掌および足底の煩熱、頬部潮紅、ほとんど潤いが無い紅舌および数・細脈を特徴とする証。
2.10.46	pattern/syndrome of yin deficiency with dryness of the throat	陰虛咽喉失濡證		搔痒、軽度の疼痛および嘶嘎を伴う喉の灼熱感、または喉の異物感、咽頭の乾燥および軽度の発赤または局所潰瘍、潤いのほとんどない紅舌および数・細脈を特徴とする証。
2.10.47	pattern/syndrome of toxic fire attacking the lips	毒火攻脣證		重度の疼痛を伴う唇の発赤および腫脹または悪臭のある膿性分泌物を伴う局所潰瘍、激しい発熱、口渴、黄苔を伴う紅舌および数脈を特徴とする証。
2.10.48	pattern/syndrome of dampness-heat steaming the mouth	濕熱蒸口證		口腔粘膜の発赤、腫脹および疼痛、または悪臭のある膿性分泌物を伴う口腔潰瘍、または唇の発赤、腫脹および潰瘍ならびに炎症を伴う口角の亀裂、黄・膩苔を伴う紅舌および数・濡脈を特徴とする証。

2.10.49		pattern/syndrome of dampness-heat steaming the tongue	濕熱蒸舌證		化膿した潰瘍を伴う舌の発赤、腫脹および疼痛、および黄・膩苔を特徴とする証。
2.10.50		pattern/syndrome of heat toxin attacking the tongue	熱毒攻舌證		舌または舌の一部の発赤、腫脹および疼痛とこれに伴う舌の運動障害、発熱、口渴および力強い数脈を特徴とする証。
2.10.51		sublingual blood stasis pattern/syndrome	血瘀舌下證		黒紫色の舌下腫瘍の発現、紫舌または紫斑のある舌、および舌の運動障害を特徴とする証。
2.11.0		Six-Meridian Pattern Identification/Syndrome	六經辨證		
2.11.1		six-meridian pattern identification/syndrome	六經辨證		6つの経絡の理論により証を分類することで、異なる段階の急性熱病の診断に用いられるが、その他の疾病の弁証論治にも役立つ。
2.11.2	太陽病證； 太陽病	greater yang disease pattern/syndrome	太陽病證		熱病の発症時に生じる太陽の経絡の証および太陽の腑の証の一般用語で、主に頭項強痛、悪寒および浮脈が発現する。greater yang diseaseとも呼ばれる。
2.11.2	太陽病證； 太陽病	greater yang disease pattern/syndrome	太陽病		熱病の発症時に生じる太陽の経絡の証および太陽の腑の証の一般用語で、主に頭項強痛、悪寒および浮脈が発現する。greater yang diseaseとも呼ばれる。
2.11.3		greater yang meridian pattern/syndrome	太陽經證		風寒邪が体表の太陽の経絡を攻撃することにより生じる六經の証の1つで、通常、感受の初期段階で認められる。寒気および発熱、頭項強痛および浮脈を特徴とする。
2.11.4		greater yang bowel	太陽腑證		長引く太陽経の病邪が膀胱（太陽の腑）を攻撃することにより生じる証。
2.11.5	太陽傷寒證； 太陽傷寒	greater yang cold damage pattern/syndrome	太陽傷寒證		寒邪が太陽の経絡を攻撃することにより生じる証で、主に発熱、寒気、無汗および浮脈が発現する。greater yang cold damageとも呼ばれる。
2.11.5	太陽傷寒證； 太陽傷寒	greater yang cold damage pattern/syndrome	太陽傷寒		寒邪が太陽の経絡を攻撃することにより生じる証で、主に発熱、寒気、無汗および浮脈が発現する。greater yang cold damageとも呼ばれる。
2.11.6	太陽蓄水證； 太陽蓄水	greater yang water-retention pattern/syndrome	太陽蓄水證		水分代謝障害を特徴とする太陽の腑の証の一種で、主に排尿障害および口渴が発現するが、水分摂取直後に嘔吐は発現しない。greater yang water-retentionとも呼ばれる。
2.11.6	太陽蓄水證； 太陽蓄水	greater yang water-retention pattern/syndrome	太陽蓄水		水分代謝障害を特徴とする太陽の腑の証の一種で、主に排尿障害および口渴が発現するが、水分摂取直後に嘔吐は発現しない。greater yang water-retentionとも呼ばれる。
2.11.7	陽明病證； 陽明病	yang brightness disease pattern/syndrome	陽明病證		盛んな陽および胃腸の燥熱を特徴とし、体外で感受した疾病の過程で生じる証で、便秘を伴う腹部膨満、潮熱および沈・実脈が発現する。yang brightness diseaseとも呼ばれる。
2.11.7	陽明病證； 陽明病	yang brightness disease pattern/syndrome	陽明病		盛んな陽および胃腸の燥熱を特徴とし、体外で感受した疾病の過程で生じる証で、便秘を伴う腹部膨満、潮熱および沈・実脈が発現する。yang brightness diseaseとも呼ばれる。
2.11.8		yang brightness meridian pattern/syndrome	陽明經證		盛んな邪熱が陽明の経絡にあふれ出て、体全体に広がることにより生じるが、まだ便秘をもたらしていない証で、寒気のない壮熱、多汗、強い口渴および大・洪脈が特徴的に発現する。
2.11.9		yang brightness bowel pattern/syndrome	陽明腑證		熱邪が胃および大腸に蓄積することにより生じる証で、潮熱、腹部の脹満および疼痛、便秘、煩躁または譫妄が発現する。
2.11.10	少陽病證； 少陽病	lesser yang disease pattern/syndrome	少陽病證		病邪が身体の表裏の間に存在する証で、寒熱往来、胸部および下肋部の充満感および息苦しい感じ、喉の乾燥および弦脈を特徴とする。lesser yang diseaseとも呼ばれる。
2.11.10	少陽病證； 少陽病	lesser yang disease pattern/syndrome	少陽病		病邪が身体の表裏の間に存在する証で、寒熱往来、胸部および下肋部の充満感および息苦しい感じ、喉の乾燥および弦脈を特徴とする。lesser yang diseaseとも呼ばれる。
2.11.11		lesser yang meridian pattern/syndrome	少陽經證		胆の経絡を障害する少陽の証で、寒熱往来、胸部および下肋部の疼痛および充満感、飲食したがいらない、いらいら傾向、嘔吐したがる、口苦、喉の乾燥、目眩、白舌および弦脈を特徴とする。
2.11.12		lesser yang bowel pattern/syndrome	少陽腑證		熱が胃腸管と結合する少陽の証で、寒熱往来、胸部および下肋部の疼痛および充満感、絶え間ない嘔吐、心窩部のけいれん、いらいら傾向、便秘または環流性の熱結、黄・燥苔を伴う紅舌および力強い弦脈を特徴とする。
2.11.13		greater yin disease pattern/syndrome	太陰病證		脾陽の低下と寒湿の生成を特徴とする証で、厭食、嘔吐、腹部の充満感および隠痛、泄瀉および弱脈が発現する。greater yin diseaseとも呼ばれる。
2.11.13		greater yin disease pattern/syndrome	太陰病		脾陽の低下と寒湿の生成を特徴とする証で、厭食、嘔吐、腹部の充満感および隠痛、泄瀉および弱脈が発現する。greater yin diseaseとも呼ばれる。

2.11.14		greater yin wind stroke pattern/syndrome	太陰中風證		太陰の虚寒と表の風寒が組み合わさった証で、悪風、発熱、発汗、腹部充満感および温め圧迫すると緩和する疼痛、および水瀉を特徴とする。
2.11.15	少陰病證; 少陰病	lesser yin disease pattern/syndrome	少陰病證		体外で感受した疾病の後期で生じ、心・腎の寒虚を特徴とする証で、悪寒、無気力、いらいら傾向、失眠、四肢の冷え、未消化食物の泄瀉および細脈が発現する。lesser yin diseaseとも呼ばれる。
2.11.15	少陰病證; 少陰病	lesser yin disease pattern/syndrome	少陰病		体外で感受した疾病の後期で生じ、心・腎の寒虚を特徴とする証で、悪寒、無気力、いらいら傾向、失眠、四肢の冷え、未消化食物の泄瀉および細脈が発現する。lesser yin diseaseとも呼ばれる。
2.11.16		lesser yin exterior cold pattern/syndrome	少陰表寒證		陽虚の体質が認められる患者において、寒邪が少陰に侵入し、同時に太陽にも侵入するときに生じる証で、発熱、悪寒、頭痛、悪汗、四肢の冷え、無気力、白苔および沈脈が発
2.11.17		lesser yin cold transformation pattern/syndrome	少陰寒化證		心・腎に侵入した病邪が寒に転換する少陰の証で、通常、悪寒、四肢の冷え、眠気、未消化物を含む泄瀉、淡白舌および沈・微脈が発現する。
2.11.18		lesser yin heat transformation pattern/syndrome	少陰熱化證		病邪が熱に転換する少陰の証で、いらいら傾向、失眠、口乾および喉の乾燥、紅舌尖および細・數脈が発現する。
2.11.19	厥陰病證; 厥陰病	reverting yin disease pattern/syndrome	厥陰病證		3つの陰病の最終段階で生じ、危篤の場合に寒・熱または陰・陽が絡み合うことを特徴とする証。reverting yin diseaseとも呼ばれる。
2.11.19	厥陰病證; 厥陰病	reverting yin disease pattern/syndrome	厥陰病		3つの陰病の最終段階で生じ、危篤の場合に寒・熱または陰・陽が絡み合うことを特徴とする証。reverting yin diseaseとも呼ばれる。
2.11.20		reverting yin heat reversal pattern/syndrome	厥陰熱厥證		体外で感受した疾病の最終段階で生じ、病邪により極度に盛んな陽熱が体外に到達できないときに生じる証で、四肢の冷え、顔面潮紅および目の充血、胸部および腹部の灼熱感、口渇、いらいら傾向、落ち着きのなさおよび失眠、短時間の赤色尿の排出 便秘 黄苔を伴う紅舌および數・滑脈が発現す
2.11.21		reverting yin cold reversal pattern/syndrome	厥陰寒厥證		体外で感受した疾病の最終段階で生じる証で、手足厥冷およびほとんど触れない脈または促脈を特徴とする。
2.11.22	太陽蓄血證; 太陽蓄血	greater yang blood amassment pattern/syndrome	太陽蓄血證		病邪が血に結合し、下腹にとどまる太陽の腑の証の一種で、硬直を伴う下腹部のけいれんまたは充満感、多尿、譫妄、健忘症、暗黒色の便、および不規則に変わる沈脈または沈・結脈を特徴とする。greater yang blood amassmentとも呼ばれる。
2.11.22	太陽蓄血證; 太陽蓄血	greater yang blood amassment pattern/syndrome	太陽蓄血		病邪が血に結合し、下腹にとどまる太陽の腑の証の一種で、硬直を伴う下腹部のけいれんまたは充満感、多尿、譫妄、健忘症、暗黒色の便、および不規則に変わる沈脈または沈・結脈を特徴とする。greater yang blood amassmentとも呼ばれる。
2.11.23		pattern/syndrome of heat entering blood chamber	熱入血室證		熱が胞に浸透し、これにより腹痛、月経障害、寒熱往来および夜間譫妄が引き起こされる証。
2.12.0		Defense, Qi, Nutrient and Blood Pattern Identification / Syndrome	衛氣營血辨證		
2.12.1		defense, qi, nutrient and blood pattern identification/syndrome	衛氣營血辨證		臨床経過の段階とこれに対応する病的変化を示す衛、氣、營、血の理論による流行性熱病の証の分類。
2.12.2		defense aspect pattern/syndrome	衛分證		衛氣の障害が表層部に限定されている流行性熱病の初期段階で、発熱、軽度の悪風および悪寒、頭痛、紅舌尖および數・浮脈を特徴とする。
2.12.3		qi aspect pattern/syndrome	氣分證		陽明の経絡、または肺、胆、脾、胃または大腸への熱邪の侵入を示す流行性熱病の第2段階で、寒気のない壯熱、強い口渇、顔面潮紅、暗黒色の尿、黄苔を伴う紅舌および力強い數脈を特徴とする。
2.12.4		nutrient aspect pattern/syndrome	營分證		熱邪が營分に進み、心（精神）を障害するという特徴をもつ流行性熱病の重篤な発症のことで、夜間に高くなる熱、落ち着きのなさまたは譫妄、かすかな皮疹および緯舌が発現す
2.12.5		blood aspect pattern/syndrome	血分證		陰血の重度の障害を特徴とする最も重度な段階での流行性熱病で、咯血、鼻血、尿血、便血などの種々の出血に加えて、壯熱、昏睡または抽搐が認められる。
2.12.6		pattern/syndrome of both defense-qi aspects disease	衛氣同病證		衛分と氣分の両方に熱邪がみられるという特徴をもつ証で、壯熱、軽度の悪風および悪寒、口渇、いらいらする、紅舌および數・浮脈が発現する。
2.12.7		pattern/syndrome of both defense-nutrient aspects disease	衛營同病證		衛分と營分の両方に熱邪がみられるという特徴をもつ流行性熱病の証で、壯熱および譫妄とともに寒気、頭痛および全身の酸痛が発現する。

2.12.8		pattern/syndrome of dual blaze of qi-nutrient	氣營兩燔證		気分と営分の症候群が同時にみられるという特徴をもつ証で、壮熱、口渇、精神的ないらいら、譫妄およびかろうじて肉眼で認められる皮疹が発現する。
2.12.9		pattern/syndrome of dual blaze of qi-blood aspects	氣血兩燔證		気分と血分の症候群が同時にみられるという特徴をもつ証で、壮熱、口渇、譫妄、皮疹、および種々の出血症状が発現する。
2.12.10		pattern/syndrome of heat entering the blood aspect	熱入血分證		発熱、意識障害、出血および緯舌を特徴とする証。
2.12.11		pattern/syndrome of heat entering nutrient-blood aspects	熱入營血證		夜間に高くなる熱、わずらわしい失眠または意識障害、かろうじて肉眼で認められる皮疹または出血、便秘、緯舌および数・細脈を特徴とする証。
2.12.12		pattern/syndrome of exuberant heat stirring wind	熱盛動風證		壮熱、昏睡、頸部硬直を伴う抽搐、弓なり緊張、開口障害、黄苔を伴う緯舌および数・弦脈を特徴とする証。
2.12.13		pattern/syndrome of exuberant heat with bleeding	熱盛動血證		壮熱、口渇、譫妄、顔面潮紅、目の充血、便血、尿血、鼻血、明瞭な皮疹、黄苔を伴う緯舌および数・洪脈を特徴とする証。
2.12.14	熱入心包證；熱閉心包證	pattern/syndrome of heat entering the pericardium	熱入心包證		壮熱、口渇、譫妄、顔面潮紅、荒い呼吸、黄苔を伴う紅舌および滑・數脈を特徴とする証。
2.12.14	熱入心包證；熱閉心包證	pattern/syndrome of heat entering the pericardium	熱閉心包證		壮熱、口渇、譫妄、顔面潮紅、荒い呼吸、黄苔を伴う紅舌および滑・數脈を特徴とする証。
2.12.15		residual heat pattern/syndrome	餘熱未清證		残留熱がなかなか消えず、体液が障害されることを特徴とする証で、持続性の微熱、いらいら傾向、口渇、便秘、暗黒色の尿、潤いのない紅舌および数・細脈が発現する。
2.12.16		pattern/syndrome of toxin congesting the upper energizer	毒壅上焦證		発症時の寒気および発熱、頭部・顔面の発赤および腫脹、喉の搔痒および痛み、およびその後の壮熱、口渇、頭部・顔面の熱感および腫脹、皮疹、煩躁、喉の炎症および感染、これに伴う咳嗽および喘を特徴とする証。
2.12.17		pattern/syndrome of wind-heat with epidemic toxin	風熱疫毒證		寒気および発熱、頭部・顔面の発赤および腫脹、喉の痛みを伴う腫脹、皮疹、煩躁、口渇、頭痛、悪心、緯舌および数・洪脈を特徴とする証。
2.12.18		pattern/syndrome of dampness obstructing defence yang	濕遏衛陽證		悪寒、無汗、身熱不揚、何かを巻き付けられたような頭痛、動かしにくい身体および四肢、胸悶、空腹感の欠如、口渇欠如、白・膩苔および濡・緩脈を特徴とする証。
2.12.19		pattern/syndrome of pathogen hidden in the pleurodiaphragm	邪伏膜原證		一定時刻に発現する寒熱発作、重度の頭痛および身痛、胸部および下肋部の膨満感および重圧感、痰性物質の喀出、および粉末状の白苔を特徴とする証。
2.12.20		qi aspect dampness-heat pattern/syndrome	氣分濕熱證		濕熱邪が気分に侵入するときに生じる証で、身熱不揚、胸悶および腹部膨満、黄疸、動かしにくい四肢、悪心および嘔吐、黄・膩苔を伴う紅舌および数・滑脈を特徴とする。
2.12.21		pattern/syndrome of dampness-heat obstructing qi movement	濕熱鬱阻氣機證		濕熱邪により氣機が妨げられるときに生じる証で、発熱、倦怠感、四肢の酸痛、胸悶および腹部膨満感、悪心、嘔吐、赤色尿、および白・膩苔または濁りがある膩苔を特徴とする。
2.12.22		pattern/syndrome of dampness predominating over heat	濕重於熱證		身熱不揚、飲水欲を伴わない口渇、頭重感および動かしにくい四肢、排尿障害、泄瀉、黄・膩苔を伴う紅舌、および軽度の数・滑脈を特徴とする証。
2.12.23		pattern/syndrome of heat predominating over dampness	熱重於濕證		発熱、口渇、顔面潮紅および目の充血、動かしにくい四肢および頭部、不快な下痢、短時間の微量尿の排出、黄・膩苔を伴う紅舌および数・滑脈を特徴とする証。
2.12.24		spreading dampness-heat pattern/syndrome	濕熱浸淫證		眼瞼、耳、鼻、口角、指または踵の発赤、腫脹、搔痒、潰瘍および浸出液を特徴とする証。
2.12.25		pattern/syndrome of summerheat with cold-dampness	暑兼寒濕證		暑と寒濕の両方が体表を攻撃するときに生じる証で、頭痛、発熱、悪寒、無汗、心窩部重圧感、いらいら傾向および薄・膩苔を特徴とする。
2.12.26		pattern/syndrome of summerheat-dampness encumbering the middle energizer	暑濕困阻中焦證		暑と濕の両方が脾・胃を苦しめるときに生じる証で、激しい発熱、わずらわしい口渇、多汗、短時間の尿の排出、心窩部が詰まった感じ、身体が重い感じおよび大・洪脈を特徴とする。
2.12.27		summerheat-heat pattern/syndrome	暑熱證		発熱、口渇、無気力、短気、いらいら傾向、めまい、発汗、短時間の黄色尿の排出、黄・燥苔を伴う紅舌および大・洪脈を特徴とする暑熱の証。

2.12.28	summerheat dampness pattern/syndrome	暑濕證		暑・湿の両方により生じる証で、発熱、心煩、胸部圧迫感、悪心および嘔吐、黄・膩苔を伴う紅舌および数・滑脈を特徴とする。
2.12.29	pattern/syndrome of summerheat entering yang brightness	暑入陽明證		旺盛な暑が陽明、すなわち氣分に進入することにより生じる証で、激しい発熱、多汗、いらいら傾向、めまいを伴う頭痛、顔面潮紅、荒い呼吸、口渇、齒の乾燥、黄・燥苔、大・洪脈または大・洪芤脈を特徴とする。
2.12.30	pattern/syndrome of summerheat damaging fluid and qi	暑傷津氣證		暑による氣の消耗および津の障害が原因で生じる証で、発汗を伴う発熱、強い口渇、いらいら傾向、顔面潮紅、無氣力、乏力、短氣、短時間の濃色尿の排出、燥・黄苔を伴う紅舌、および大・浮・弱脈が発現する。
2.12.31	pattern/syndrome of summerheat-heat stirring wind	暑熱動風證		壯熱、神昏、抽搐、弓なり緊張および開口障害を特徴とする暑の証。
2.12.32	pattern/syndrome of summerheat blocking qi movement	暑閉氣機證		突然の昏厥、大量の発汗を伴わない発熱、手足厥冷、喘、開口障害、または悪心、嘔吐および腹痛を特徴とする暑の証。
2.13.0	Triple Energizer Pattern Identification/ Syndrome	三焦辨證		
2.13.1	triple energizer pattern identification/ syndrome	三焦辨證		三焦の理論による証の分類。
2.13.2	upper energizer disease pattern/ syndrome	上焦病證		流行性熱病の初期に病邪が肺の経絡に侵入するときに生じる証で、寒気および発熱、発汗、頭痛、咳嗽、口渇、紅色の舌尖・舌辺、および数・浮脈、または、病邪が逆行して心包に至る場合は、寒気を伴わない壯熱、咳嗽、喘、発汗、譫妄および神昏を特徴とする。
2.13.3	middle energizer disease pattern/ syndrome	中焦病證		流行性熱病の中期に病邪が胃の経絡に侵入するときに生じる証で、傷陰を伴う胃の燥熱、または傷陰を伴う脾の湿熱のいずれかを特徴とする。
2.13.4	lower energizer disease pattern/ syndrome	下焦病證		流行性熱病の後期に肝腎陰の障害により生じる証。
2.13.5	triple energizer dampness-heat pattern/syndrome	三焦濕熱證		濕熱邪が全身に侵入し、三焦すべてを冒すことにより生じる証。
2.13.6	upper energizer dampness-heat pattern/syndrome	上焦濕熱證		濕熱病の初期に生じる証で、一般に寒気および発熱、頭部および身体が重い感じ、胸悶、咳嗽、無汗および数・濡脈が発現する。
2.13.7	lower energizer dampness-heat pattern/syndrome	下焦濕熱證		濕熱邪が大腸または膀胱に侵入することにより生じる証。
3.0.0	DISEASE	臨床各科		
3.1.0	Internal	内科		
3.1.1	yin disease	陰病		(1)陰経の病。(2)臟の虚証および/または寒証の総称。病の變化における陰病期とも呼ばれる。
3.1.2	yang disease	陽病		(1)陽経の病。(2)臟の実証および/または熱証の総称。病の變化における陽病期とも呼ばれる。
3.1.3	cold damage	傷寒		(1)外感する多様な熱病の一般用語。(2)寒による病態で、悪寒および発熱を発現し、無汗・頭痛および浮・緊脈を呈す寒病および温病以外の多様な内病。
3.1.4	miscellaneous disease	雜病		
3.1.5	new contraction	新感		外邪侵入による熱病の速やかな発症。初期に悪風、悪寒の表証を現す。
3.1.6	seasonal	時疫		特定の季節に流行する感染症。
3.1.7	common cold	感冒		風邪による肺表の苦痛であり、主に発熱、悪寒、頭痛、全身痛、鼻閉、噴嚏、喉の搔痒および咳嗽を発現する。
3.1.8	influenza	時行感冒		流行性病邪の肺表への侵入による疾患で、急な発熱、喉頭痛、頭痛および全身痛を起こす。
3.1.9	dampness	傷濕		外感濕邪または湿濁による胃腸閉塞による疾患。
3.1.10	dysentery	痢疾		腹痛、裏急後重、粘液および血液を含む便を伴う泄瀉を特徴とする疾患。
3.1.11	epidemic toxin dysentery	疫毒痢		急性発症する壯熱、頭痛、重度の腹痛、血液および粘液を含む頻回の排便を特徴とする重度の痢疾で、抽搐あるいは四肢の厥冷を伴う神昏およびチアノーゼを起こすことすらある。
3.1.12	intermittent dysentery	休息痢		頻繁に再発する慢性痢疾。
3.1.13	food-denying dysentery	噤口痢		完全な食欲喪失および飲食時の嘔吐を伴う重度の痢疾。
3.1.14	cholera	霍亂		米のとぎ汁様の嘔吐物と便を伴う嘔吐、痢疾の同時突発を特徴とする疾患。急性胃腸炎、食中毒、コレラを表す。

3.1.15		dry cholera	乾霍亂		腹部痙痛および心窩部圧迫の突発を特徴とする急性疾患。嘔吐および便意を催すが排便はない。
3.1.16	瘧：瘧疾(瘧)	malaria	瘧		マラリア寄生虫感受による疾患で、悪寒戦慄、壮熱、発汗の発作を現す。マラリア様疾患としても知られる。
3.1.16	瘧：瘧疾(瘧)	malaria	瘧疾		マラリア寄生虫感受による疾患で、悪寒戦慄、壮熱、発汗の発作を現す。マラリア様疾患としても知られる。
3.1.16	瘧：瘧疾(瘧)	malaria	瘧疾病		マラリア寄生虫感受による疾患で、悪寒戦慄、壮熱、発汗の発作を現す。マラリア様疾患としても知られる。
3.1.17		dampness malaria	濕瘧		湿により悪化した瘧で、悪寒および非表熱の発作を発現する。発汗不全、悪心、嘔吐、厭食、膩苔、緩脈を併存する。
3.1.18		warm malaria	溫瘧		通常の発作より熱が高く、軽度の悪寒を伴う瘧。発汗不利、極度の口渴が付随する。
3.1.19		cold malaria	寒瘧		強度の悪寒、軽度の発熱または無発熱の場合すらあり、無汗、無口渴が付随する。
3.1.20		taxation malaria	勞瘧		軽度の悪寒および発熱、疲労による発作を伴う慢性の瘧。
3.1.21		miasmatic malaria	瘴瘧		神昏または黄疸を伴う重度の瘧。
3.1.22		miasma	瘴氣		瘧の原因といわれる有害な臭気。
3.1.23		pestilence	瘟疫		悪性の感染症の一般用語。
3.1.24		erysipelas facialis	大頭瘡		壮熱、局所発赤を発現する急性感染症で、顔貌、腫張、熱、疼痛を特徴とする。
3.1.25		warm toxin	溫毒		(1)熱毒を伴う温邪。(2)この種の温邪の感受による急性炎症疾患
3.1.26		warm disease	溫病		外感した温邪による急性疾患の一般用語。主な発現として発熱を伴う。温邪病としても知られる。
3.1.27		spring warmth	春溫		春季に感受した温邪。
3.1.28		wind-warmth	風溫		風熱邪の感受による温邪。
3.1.29	中暑：暈	summerheat	中暑		暑の感受による急性熱性疾患。熱射病と同義。
3.1.29	中暑：暈	summerheat	暈		暑の感受による急性熱性疾患。熱射病と同義。
3.1.30		summerheat affliction	冒暑		夏季にみられる感冒。
3.1.31		summerheat damage	傷暑		特に軽度の熱射病および日射病に対する、暑邪による多様な病態の一般用語。
3.1.32		latent summerheat	伏暑		秋季または冬季に発生する、後発性の暑邪または暑湿邪により起こる急性発熱性疾患。
3.1.33		summerheat convulsions	暑痢		神昏および抽搐を伴う夏季の重度の中暑の一種。
3.1.34		summerheat-warmth	暑溫		暑邪の感受による温疾。
3.1.35		summerheat-dampness	暑風		暑により起こる弓なり緊張の突発および抽搐を現す疾患。
3.1.36		dampness-yin toxin	濕溫		湿暑邪の感受による温病。
3.1.37		yang toxin	陰毒		紅斑および青みがかった面色を特徴とする疾患。全身痛および喉頭痛が付随する。
3.1.38		yang toxin	陽毒		色の明るい紅斑を特徴とする疾患。喉頭痛および血性の膿を伴う唾液が付随する。
3.1.39		cough	咳嗽		(1)破裂音または喀痰を伴う、突然の肺からの排気。(2)主に咳嗽を発現する疾患
3.1.40		dry cough	乾咳		喀痰を伴わない、またはほとんど伴わない咳嗽。
3.1.41		fifth-watch	五更咳		連日夜明け直前に発生あるいは悪化する咳嗽。
3.1.42		lung cough	肺咳		肺気の上逆による咳嗽。
3.1.43		wheezing and dyspnea	哮喘		喘息など、笛声音を併存する発作性の努力性呼吸を特徴とする病的状態。
3.1.44		wheezing	哮		笛声音を伴う、困難な努力性呼吸。
3.1.45	寒哮：冷哮	cold wheezing	寒哮		寒痰の気道閉塞による喘息の一種。哮を伴う喘、希薄な痰の喀出、胸部の満および圧迫感、白みがかった滑苔、浮・緊脈を現す。
3.1.45	寒哮：冷哮	cold wheezing	冷哮		寒痰の気道閉塞による喘息の一種。哮を伴う喘、希薄な痰の喀出、胸部の満および圧迫感、白みがかった滑苔、浮・緊脈を現す。
3.1.46		heat wheezing	熱哮		熱痰の肺内滞留による喘息の一種。喘、哮、黄色がかった濃厚な痰の喀出、顔面潮紅、口渴、黄・膩苔を伴う発赤した舌および数・滑脈を現す。
3.1.47		dyspnea	喘		困難な努力性呼吸。
3.1.48		dyspnea of excess tvne	實喘		外感により起こる喘。急速な発症および短期間の持続を伴う、急速、強力、粗い呼吸を現す。
3.1.49		dyspnea of deficiency tvne	虚喘		肺腎の不十分な気による喘。短気、労作による喘を現し、通常、発症は緩徐であり性質は慢性的である。
3.1.50		shortness of breath	短氣		急速な努力性呼吸。
3.1.51		shortage of qi	少氣		虚弱性または失神性呼吸。浅呼吸としても知られる。
3.1.52		lung distention	肺脹		肺の持続的な脹を特徴とする肺疾患。胸部圧迫感、慢性的な咳嗽および喀痰、短気あるいは喘、口唇および舌のチアノーゼを発現する。
3.1.53		lung abscess	肺癰		熱毒により肺内に発生する癰。突発的な発熱、咳嗽、胸部痛、悪臭を有する血性化膿性痰の喀出を現す。
3.1.54		lung consumption	肺癆		過労による消費性疾患。咳嗽、咯血、潮熱、盗汗、羸瘦を特徴とする。

3.1.55		plum-pit qi	梅核氣	嚥下、排出のいずれも不能な、喉頭の異物感を特徴とする疾患。ヒステリー球としても知られる。
3.1.56		fright	驚悸	驚による心悸。
3.1.57		fearful throbbing	怔忡	重度の心悸。
3.1.58		chest impediment	胸痹	胸筋痛の発作を特徴とする疾患で、圧迫感を併存することがある。
3.1.59		chest bind	結胸	胸部および腹部内に邪(津または痰の滞留、または食の滞留と組み合わせた熱または寒など)が蓄積することによる病的状態。しばしば局所の堅満、圧痛を伴う。胸部絞突感、前胸部および心窩部の疼痛に対する一般用語。
3.1.60		heart pain	心痛	熱邪の感受による心痛の突発的発作。
3.1.61		sudden heart pain	卒心痛	突然発生する重度の心痛を特徴とする疾患。発汗、面色蒼白、口唇チアノーゼ、関節まで蒼白になった手足を伴う四肢の冷えを併存し、脈はほとんど触れない。
3.1.62		true heart pain	真心痛	突然発生する重度の心痛を特徴とする疾患。発汗、面色蒼白、口唇チアノーゼ、関節まで蒼白になった手足を伴う四肢の冷えを併存し、脈はほとんど触れない。
3.1.63	眩暈；頭暈；暈眩	dizziness	眩暈	視覚の歪みを伴う、頭部内で旋回するような感覚を特徴とする病的状態。
3.1.63	眩暈；頭暈；暈眩	dizziness	頭暈	視覚の歪みを伴う、頭部内で旋回するような感覚を特徴とする病的状態。
3.1.63	眩暈；頭暈；暈眩	dizziness	暈眩	視覚の歪みを伴う、頭部内で旋回するような感覚を特徴とする病的状態。
3.1.64		loss of consciousness	神昏	刺激に対する無反応を伴う、意識喪失を特徴とする病的状態。
3.1.65		apoplectic wind stroke	類中風	内風邪により起こる脳卒中。
3.1.66		prodrome of wind stroke	中風前兆症	頭痛および眩暈、四肢の麻木および虚弱など、中風発症を示す症状。
3.1.67		sequela of wind stroke	中風後遺症	半身不随、言語障害、認知症など、風邪の発作に後続する機能障害。
3.1.68		collateral stroke	中絡	わずかな顔貌の歪み、四肢の麻木を伴う、極めて軽度の中
3.1.69		meridian stroke	中經	半身不随、顔面および四肢の麻痺、不全失語症を伴う軽度の中風。しかし、意識障害はない。
3.1.70		bowel stroke	中腑	昏厥、半身不随、顔貌の歪み、不全失語症の発症を伴う、重度の中風。
3.1.71		visceral stroke	中臟	突然の神昏、失語症、流涎を伴う口唇の麻痺を伴う極めて重度の中風。
3.1.72	半身不随；偏枯	hemiplegia	半身不随	体の片側の麻痺。
3.1.72	半身不随；偏枯	hemiplegia	偏枯	体の片側の麻痺。
3.1.73		numbness	麻木	触覚低下。
3.1.74	不得臥；失眠	insomnia	不得臥	長期の正常睡眠不能。
3.1.74	不得臥；失眠	insomnia	失眠	長期の正常睡眠不能。
3.1.75		forgetfulness	健忘	記憶力の低下、物事を忘れやすい。健忘と同義。
3.1.76		dementia	痴呆	認知機能、知的機能の顕著な低下を特徴とする疾患。通常進行性であり、感覚喪失または神昏は伴わない。
3.1.77		yang epilepsy	陽癇	陽性の癲癇。発作性の一時的な神昏、発作、しばしば発声が先行する上方凝視を特徴とする。
3.1.78		yin epilepsy	陰癇	陰性の癲癇。抽搐を伴わない一時的な意識混濁を特徴とする。
3.1.79		depressive psychosis	癲病	重度の鬱病を特徴とする精神病性障害。
3.1.80		manic psychosis	狂病	精神的および肉体的運動亢進、行動の解体、気分高揚を特徴とする精神病性傷害。
3.1.81		lily disease	百合病	精神的負担、気力低下、不眠、厭食、偽熱および偽寒、口苦、黄色尿、数脈を特徴とする神経症の古語。
3.1.82		stomach duct	胃脘痛	心窩部の疼痛を特徴とする病的状態。心窩部痛と同義。
3.1.83	脘痞；心下痞	gastric stuffiness	脘痞	充実感および圧迫感を伴うが局所の痞および圧痛は伴わない、心窩部の不快感を特徴とする病的状態。
3.1.83	脘痞；心下痞	gastric stuffiness	心下痞	充実感および圧迫感を伴うが局所の痞および圧痛は伴わない、心窩部の不快感を特徴とする病的状態。
3.1.84		stuffiness of excess type	實痞	邪の蓄積により起こる痞の感覚。
3.1.85		stuffiness of deficiency type	虚痞	虚の状態で発生する痞の感覚。
3.1.86		vomiting	嘔吐	胃内容物の口からの激しい圧出を特徴とする病的状態。
3.1.87		acid vomiting	吐酸	胃から湧出する酸味のある液体の口からの圧出。
3.1.88		gastric upset	嘈雜	胃をかき乱されたような感覚を特徴とする病的状態。しばしば酸の逆流が付随する。
3.1.89	呃逆；噦	hiccup	呃逆	横隔膜の不随意運動を伴う胃気の逆行。特徴的な音を発す。
3.1.89	呃逆；噦	hiccup	噦	横隔膜の不随意運動を伴う胃気の逆行。特徴的な音を発す。
3.1.90		dysphagia-occlusion	噎膈	食道狭窄により起こる嚥下困難。
3.1.91	反胃；胃反	stomach reflux	反胃	食後長時間経過後の、食道および口への胃内容物の逆流。胃食道逆流としても知られる。
3.1.91	反胃；胃反	stomach reflux	胃反	食後長時間経過後の、食道および口への胃内容物の逆流。胃食道逆流としても知られる。

3.1.92		block and repulsion	關格	尿の停止および嘔吐を特徴とする病的状態。
3.1.93		constipation	便秘	低頻度排便および排便困難。
3.1.94	泄瀉; 下利; 泄瀉病	diarrhea	泄瀉	排便頻度および糞便中水分量の異常を特徴とする病態。
3.1.94	泄瀉; 下利; 泄瀉病	diarrhea	下利	排便頻度および糞便中水分量の異常を特徴とする病態。
3.1.94	泄瀉; 下利; 泄瀉病	diarrhea	泄瀉病	排便頻度および糞便中水分量の異常を特徴とする病態。
3.1.95		chronic diarrhea	久泄	長期間持続または継続的に再発する泄瀉。
3.1.96		splenic constipation	脾約	脾の機能不全の結果、乾固した便が低頻度で排出されること。
3.1.97	藏結; 藏結	visceral bind	藏結	実寒が内臓に結合したときに生じる病的状態。心窩部の脹満感、疼痛または脇部に蓄積した圧痛のある腫瘍を発現する。
3.1.97	藏結; 藏結	visceral bind	藏結	実寒が内臓に結合したときに生じる病的状態。心窩部の脹満感、疼痛または脇部に蓄積した圧痛のある腫瘍を発現する。
3.1.98		food damage	傷食	食による脾および胃への傷による疾患。
3.1.99		sallow disease	黄肿病	干からびて黄色がかった肌の変色、顔および足関節の腫脹を特徴とする病的状態。
3.1.100		jaundice	黄疸	肌および強膜の黄変を特徴とする病態。
3.1.101		acute jaundice	急黄	突然の発症、急速な悪化、予後不良を伴う重症例の黄疸。壮熱、極度の口渇、意識障害、譫妄を併存し、血分および榮分への毒を伴う湿熱の内裏を示す。
3.1.102		yang jaundice	陽黄	肌および強膜の明黄色への変化を特徴とする黄疸の一種。熱、口渇、黄色の膩苔など湿熱症状が付随する。
3.1.103		yin jaundice	陰黄	肌および強膜の薄暗い黄色への変化を特徴とする黄疸の一種。通常慢性であり、気力低下、畏寒、白色の膩苔、濡・緩脈などの寒湿症状が付随する。
3.1.104		dietary jaundice	穀疸	食事直後の眩暈、および消化不良による胃での疼痛のある満を特徴とする黄疸の一種。
3.1.105		alcoholic	酒疸	酒の過飲による黄疸の一種。
3.1.106		liver fixity	肝著	肝経の気血が低下および停滞した時に生じる病態。
3.1.107		gallbladder distention	膽脹	胆嚢の気が停滞している時に生じる病態。痞、脹を伴う再発性の右上腹部痛を発現する。
3.1.108		tympanites	鼓脹	太鼓様の重度の脹腹を特徴とする疾患。肌の黒ずんだ黄変、腹壁の大きな静脈が付随する。
3.1.109		cutaneous distention	膚脹	寒邪の感受による脹疾患の一種。邪が衛気とともに肌内にあるときに生じる。
3.1.110		distention and fullness	脹満	外脹および内満。脾と胃の傷が気の停滞をもたらす時の病態。
3.1.111		water distention	水脹	水湿の蓄積につながる、陽気不十分による浮腫。初期は腹脹、その後は四肢の腫脹を現す。
3.1.112	水腫; 水氣(病)	edema	水腫	津の皮下滞留を特徴とする疾患。
3.1.112	水腫; 水氣(病)	edema	水氣	津の皮下滞留を特徴とする疾患。
3.1.112	水腫; 水氣(病)	edema	水氣病	津の皮下滞留を特徴とする疾患。
3.1.113		yang edema	陽水	それぞれ肺と脾に関連する、風の襲または水湿の浸漬による水腫。通常急性の発症および短期の経過を伴い、外、熱、実の症状を併存する。
3.1.114		yin edema	陰水	気機不利を伴う、脾および腎の虚による水腫。通常、緩徐な発症と長期の経過を伴い、内、寒、虚の症状が付随する。
3.1.115		wind edema	風水	風邪による肺への侵襲による、特に顔面および頭部の水腫の一種。悪風、関節痛、乏尿を伴う発熱の付随する、水腫が突然発症する。
3.1.116	皮水; 裏水	skin edema	皮水	腹脹および浮脈を伴う浮腫。
3.1.116	皮水; 裏水	skin edema	裏水	腹脹および浮脈を伴う浮腫。
3.1.117		regular edema	正水	腹満および喘を伴う浮腫の一種。
3.1.118		stony edema	石水	下腹部の石様の堅を現す浮腫の一種。
3.1.119		yellow sweat	黄汗	主に湿熱の裏への蓄積により起こる疾患。浮腫、発熱、黄色汗を特徴とする。
3.1.120		strangury disease	淋病	頻尿、排尿痛、淋瀝を特徴とする多様な疾患。
3.1.121		heat strangury	熱淋	湿熱による淋で、急性発症を伴う有痛性の尿意促進、頻尿を現す。悪寒および発熱、腰痛および腰椎抽痛、下腹部の脹が付随する。
3.1.122		stone strangury	石淋	尿路結石の排出による排尿痛および排尿困難。
3.1.123		qi strangury	氣淋	膀胱の気の障害による淋。排尿痛および下腹部の脹と満を特徴とする。
3.1.124		blood strangury	血淋	有痛性の血尿排出を特徴とする淋。
3.1.125		unctuous strangury	膏淋	有痛性の、米のとき汁様の乳濁尿の排出。
3.1.126		fatigue strangury	勞淋	重い労による再発性滴下尿を特徴とする淋の一種。通常慢性症例に見られる。
3.1.127		white ooze	白淫	尿中の精液または持続する膿分泌物。
3.1.128		white turbidity	白濁	(1)白濁尿。(2)尿道からの白濁した物質の排出。

3.1.129		turbid urine (disease)	尿濁		米のとぎ汁様の白濁尿の排泄。排尿困難および排尿痛はなく、淋とは異なる病態を伴う。
3.1.130		dribbling urinary block (disease)	癢閉		小便淋漓または排尿の完全閉塞。
3.1.131		seminal emission (disease)	遺精		不随意的な精液排出を特徴とする病的状態。
3.1.132		dream emission (disease)	夢遺		夢に伴う睡眠中の不随意的な精液排出。
3.1.133		spermatorrhea	滑精		交合を伴わない、不随意で頻回の精液排出。
3.1.134		premature ejaculation (disease)	早泄		性器挿入直後の、または挿入前の場合すらある射精。
3.1.135		impotence	陽痿		性交時の勃起開始または維持の不能を特徴とする、男性機能の異常状態。
3.1.136		persistent	陽強		陰茎の圧痛が付随する、持続的な勃起異常。
3.1.137		seminal cold	精冷		寒で希薄な精液を特徴とする病的状態。不妊につながる。
3.1.138		seminal turbidity (disease)	精濁		尿道からの頻繁な白濁分泌物の排出を現す男性生殖器の炎症性疾患。一般に前立腺炎を表す。
3.1.139		yin-yang transmission	陰陽易		外感から未回復の人が健康な人と性交した後には悪化あるいは新病に感受する疾患。陰陽交換としても知られる。
3.1.140	奔豚; 奔豚氣	running piglet	奔豚		走っている豚のように、気体の塊が腹中を上っているような感覚を特徴とする罹患状態の古代名。奔豚氣としても知られる。
3.1.140	奔豚; 奔豚氣	running piglet	奔豚氣		走っている豚のように、気体の塊が腹中を上っているような感覚を特徴とする罹患状態の古代名。奔豚としても知られる。
3.1.141		depression	鬱病		絶望感、不安感を伴う抑うつ気分を特徴とする病的状態の一般用語。
3.1.142		blood disease	血病		出血、血瘀、血熱など、血に関与する疾患の一般用語。
3.1.143		nosebleed	鼻衄		外傷に関係しない鼻からの出血。鼻出血とも呼ばれる。
3.1.144		gum bleeding	齒衄		外傷に関係しない歯茎からの出血。
3.1.145		hematemesis	吐血		血の嘔吐。
3.1.146		hematochezia	便血		大便中への血の排出。
3.1.147		hematuria	尿血		血尿排泄すなわち尿中の血痕であるが、排尿時の疼痛は伴わない。
3.1.148		purpura	紫斑		斑状出血すなわち皮膚および粘膜内の小出血を特徴とする疾患。
3.1.149		blood amassment (disease)	蓄血		経穴、子宮などの器官または三焦中に蓄積した滞血による疾患。
3.1.150		phlegm-fluid retention	痰飲		(1)体のいずれかの部分での痰および津の停滞の一般用語。 (2)幽門狭窄における胃の停滞など消化管中の津の停滞に特定した定義
3.1.151		pleural fluid retention	懸飲		喉頭側部に停滞する実津を特徴とする疾患。咳嗽時に引き延ばされるような痛みを伴う。
3.1.152		subcutaneous fluid retention	溢飲		体表に溢れ出すほど過剰な体の津を特徴とする疾患。
3.1.153		thoracic fluid retention	支飲		肺および胸の過剰な津の停滞。
3.1.154		recurrent fluid retention	伏飲		体内に伏する痰津を特徴とする疾患。外感によりもたらされる発作を伴う。
3.1.155		mild fluid	微飲		主に短気を発現する、軽度の飲。
3.1.156		persistent fluid retention	留飲		残存性経過および治癒困難を伴う飲の一例。
3.1.157	汗證; 汗病	abnormal	汗證		全身性または局所性の異常発汗を特徴とする病的状態。
3.1.157	汗證; 汗病	abnormal	汗病		全身性または局所性の異常発汗を特徴とする病的状態。
3.1.158		shock sweating	脱汗		気力低下、四肢の冷え、ほとんど触れない脈と関連する大量発汗。通常、重症例で発生する。
3.1.159	消渴; 消渴病	wasting-thirst	消渴		多飲、多食、多尿を特徴とする病的状態。糖尿病に類似。
3.1.159	消渴; 消渴病	wasting-thirst	消渴病		多飲、多食、多尿を特徴とする病的状態。糖尿病に類似。
3.1.160		upper wasting-thirst	上消		過剰の飲酒を伴う多飲を特徴とする、消の症例。
3.1.161		middle wasting-thirst	中消		多食、羸瘦を特徴とする、消の症例。
3.1.162		lower wasting-thirst	下消		主に多尿を特徴とする、消の症例。
3.1.163		consumptive disease	虚勞		陰、陽、気、血の消費による慢性的虚病の一般用語。
3.1.164		fatigue due to overexertion	勞倦		労作過剰により起こる病的状態で、疲労、倦怠、労作時の短気、自発発汗を発現する。
3.1.165	積聚; 癥瘕	aggregation-accumulation	積聚		胸部および腹部の腫瘤形成を表す一般用語。腹部腫瘤とも呼ばれる。
3.1.165	積聚; 癥瘕	aggregation-accumulation	癥瘕		胸部および腹部の腫瘤形成を表す一般用語。腹部腫瘤とも呼ばれる。
3.1.166	厥; 厥證	syncope	厥		一時的な神昏を特徴とする病的状態で、肘部または膝部まで、またはそれを越えた四肢の冷えを伴う。虚脱と同義。
3.1.166	厥; 厥證	syncope	厥證		一時的な神昏を特徴とする病的状態で、肘部または膝部まで、またはそれを越えた四肢の冷えを伴う。虚脱と同義。

3.1.167		flopping syncope	薄厥	突発の昏厥を特徴とする急性疾患。
3.1.168	藏厥；臟厥	visceral syncope	藏厥	内臓の陽気の衰による厥。
3.1.168	藏厥；臟厥	visceral syncope	臟厥	内臓の陽気の衰による厥。
3.1.169		crapulent	食厥	1回での過剰な飲食による厥。
3.1.170	熱厥；煎厥	heat syncope	熱厥	陰衰および実熱による厥。灼厥とも呼ばれる。
3.1.170	熱厥；煎厥	heat syncope	煎厥	陰衰および実熱による厥。灼厥とも呼ばれる。
3.1.171		cold syncope	寒厥	陽衰および実寒による厥。
3.1.172		wind syncope	風厥	肝気の風化による厥。
3.1.173		qi syncope	氣厥	気の上逆を伴う、情の雜により誘導される厥。
3.1.174		blood syncope	血厥	気血の上逆流を起こす怒の合による厥。紅顔および強い弦脈を現す。
3.1.175		phlegm syncope	痰厥	気閉を起こす過剰な痰による厥。
3.1.176		true headache	眞頭痛	重症例の頭痛。悪心、嘔吐、肘部および膝部までの肢の逆寒を併存する、頭部の劇痛の突発を現す。
3.1.177	頭風；腦風	head wind	頭風	(1)繰り返し再発する慢性の頭痛。(2)頭痛、眩暈、顔面神経麻痺、大量のふけを伴う頭皮の搔痒など、風邪による頭部の疾患の一般用語。
3.1.177	頭風；腦風	head wind	腦風	(1)繰り返し再発する慢性の頭痛。(2)頭痛、眩暈、顔面神経麻痺、大量のふけを伴う頭皮の搔痒など、風邪による頭部の疾患の一般用語。
3.1.178		hemilateral head wind	偏頭風	頭部の片側または一部で起こる慢性の再発性頭痛。
3.1.179		thunder head	雷頭風	頭部内の大騒音を伴う疼痛を特徴とする病的状態。
3.1.180		impediment disease	痺病	風、寒、湿、熱の病邪が筋肉、筋、骨、関節などの経穴に侵襲することにより起こる疾患の一群。局所痛、痛み、重感、熱感を発現し、関節腫脹、硬直、変形の発現すらある。関節痛を表すこともある。
3.1.181	行痺；風痺	moving impediment	行痺	移動性関節痛を特徴とする痺病。風痺とも呼ばれる。
3.1.181	行痺；風痺	moving impediment	風痺	移動性関節痛を特徴とする痺病。行痺とも呼ばれる。
3.1.182	痛痺；寒痺	painful impediment	痛痺	寒により悪化する重度の関節痛を伴う痺病。寒痺とも呼ばれる。
3.1.182	痛痺；寒痺	painful impediment	寒痺	寒により悪化する重度の関節痛を伴う痺病。痛痺とも呼ばれる。
3.1.183	着痺；濕痺	fixed impediment	着痺	固定性関節痛を伴う痺病。濕痺とも呼ばれる。
3.1.183	着痺；濕痺	fixed impediment	濕痺	固定性関節痛を伴う痺病。着痺とも呼ばれる。
3.1.184		heat impediment	熱痺	関節痛の急性発症を伴う痺病。局所発赤、腫脹、熱感を併存する。
3.1.185		joint-running wind	歴節風	複数関節の発赤および腫脹を特徴とする疾患で、屈伸時の急性疼痛および困難を伴い、最終的に関節変形を発症する。主に骨および関節に関与する痺病の一種。
3.1.186		bone impediment	骨痺	主に骨および関節に関与する痺病の一種。
3.1.187		flesh impediment	肌痺	主に肉に関与する痺病の一種。
3.1.188		blood	血痺	四肢の局所麻木を現す、痺病の一種。
3.1.189		vessel	脈痺	主に血管に関与する痺病の一種。
3.1.190		heart impediment	心痺	主に心に関与する痺病の一種。
3.1.191		intestinal impediment	腸痺	主に腸に関与する痺病の一種。
3.1.192		convulsive disease	瘈病	項強、四肢抽搐を現し、口の食いしばりおよび後弓反射を現すことすらある病的状態。
3.1.193		febrile convulsion	柔瘈	熱性瘈瘲の一種で、発汗を付随するが寒戦はない。
3.1.194		febrile convulsion with wilting disease	剛瘈	熱性瘈瘲の一種で、寒戦を伴うが発汗はない。
3.1.195		lung atrophy	肺痿	筋の虚弱化および跛行で、重症例では筋萎縮につながり、脚および腕の挙上を妨げる。痿軟と同義。
3.1.196		lung atrophy	肺痿	慢性的な咳嗽による肺疾患。短気および喀痰を伴う肺萎縮を現す。
3.1.197	骨痿；腎痿	bone wilting	骨痿	腎気の熱による痿。腰椎が痛む跛行、下肢の虚弱・痿による起床、自立の妨げを特徴とする。腎痿と同義。
3.1.197	骨痿；腎痿	bone wilting	腎痿	腎気の熱による痿。腰椎が痛む跛行、下肢の虚弱・痿による、起床、自立の妨げを特徴とする。骨痿と同義。
3.1.198	脈痿；心痿	vessel wilting	脈痿	心気の熱による痿。下肢の関節弛緩による、患者の自立の妨げを特徴とする。心痿と同義。
3.1.198	脈痿；心痿	vessel wilting	心痿	心気の熱による痿。下肢の関節弛緩による、患者の自立の妨げを特徴とする。脈痿と同義。
3.1.199	肉痿；脾痿	fleshy wilting	肉痿	脾気の熱による痿。肉の麻木を特徴とし、重症例では四肢の運動が不能である。脾痿と同義。
3.1.199	肉痿；脾痿	fleshy wilting	脾痿	脾気の熱による痿。肉の麻木を特徴とし、重症例では四肢の運動が不能である。肉痿と同義。
3.1.200	筋痿；肝痿	sinew wilting	筋痿	肝気の熱による痿。筋の拘急を特徴とし、徐々に痿が進み、正常な運動を妨げる。肝痿と同義。
3.1.200	筋痿；肝痿	sinew wilting	肝痿	肝気の熱による痿。筋の拘急を特徴とし、徐々に痿が進み、正常な運動を妨げる。筋痿と同義。
3.1.201		leg flaccidity	痿躄	脚部運動時の萎縮および困難による筋緊張喪失。
3.1.202		tremor	顫震	頭部および四肢の不随意的な振戦を特徴とする病的状態。

3.1.203		lumbago	腰痛	外因性疾患、外傷または腎虚に関連する副行血管中の気および血の流れの失調による、腰部の疼痛。
3.1.204	疝; 疝氣	genital disease	疝	下腹部または陰囊の疼痛および/または腫脹を特徴とする多様な疾患の総称。
3.1.204	疝; 疝氣	genital disease	疝氣	下腹部または陰囊の疼痛および/または腫脹を特徴とする多様な疾患の総称。
3.1.205	疝; 小腸氣	hernia	疝	器官または組織の一部が、正常時にはそれを内包する組織を貫通して体腔から突出すること。
3.1.205	疝; 小腸氣	hernia	小腸氣	器官または組織の一部が、正常時にはそれを内包する組織を貫通して体腔から突出すること。
3.1.206		cold abdominal colic	寒疝	寒による急性腹痛。寒による疝痛とも呼ばれる。
3.2.0		External	外科	
3.2.1		sore and ulcer	瘡瘍	体表の化膿性疾患に対する一般用語。
3.2.2		sore	瘡	瘡瘍の略。
3.2.3		ulcerating sore	潰瘍	表皮組織の喪失、崩壊、壊死を伴う肌膚または粘膜の損傷。
3.2.4		swollen sore	腫瘍	化膿および破裂を起こしていない外的疾患における腫脹。
3.2.5		hairline sore	髮際瘡	生え際近くの後頭部に発生した瘡。
3.2.6		seat sore	坐板瘡	臀部の瘡。
3.2.7		shank sore	臙瘡	下腿部の慢性潰瘍。
3.2.8		bedsore	褥瘡	長期間寝台に横臥していた患者にみられる、長期の圧迫により起こる潰瘍。
3.2.9		furuncle	癰	肌膚の局在性の急性炎症で、固い中心核があり、膿を形成する。おできとしても知られる。
3.2.10		mole cricket boil disease	蝮蝨癰	頭部の多発性膿瘍。膿瘍性穿掘性毛包炎を表す。
3.2.11		furunculosis	癰病	多発性癰発症の傾向がある状態。
3.2.12		deep-rooted boil	疔	深く根付いた中心核のあるおでき。
3.2.13		snake-head whitlow	蛇頭疔	蛇の頭部に似た、指先の腫脹。指化膿性炎症を表す。
3.2.14		cutaneous anthrax	疫疔	感染症の一つで、頭部、顔、四肢に、肥大化、潰瘍化し、血液の混じった血清を排出する小型で搔痒性の丘疹病変の発現を特徴とする。敗血症、壮熱、嘔吐、発汗、頭痛、衰弱など重度の全身性症状を伴う。
3.2.15		abscess	癰	化膿性感染症の一つで組織または器官に埋没した膿の局所集中を伴う。
3.2.16		cervical abscess	頸癰	頸部側面の癰形成を伴う化膿性感染症。
3.2.17		axillary abscess	腋癰	腋窩部の癰形成を伴う化膿性感染症。
3.2.18		popliteal	委中毒	膝窩部の化膿性急性炎。
3.2.19		umbilical abscess	臍癰	臍部の癰形成を伴う化膿性感染症。
3.2.20		gluteal abscess	臀癰	殿溝部の癰形成を伴う化膿性感染症。
3.2.21		intestinal abscess	腸癰	腸の局在性の化膿性炎症。急性盲腸炎を表す。
3.2.22		effusion	發	皮下組織の急性びまん性化膿性感染症。
3.2.23		effusion of the back of the hand	手發背	びまん性腫脹および炎症を伴う手背部の急性化膿性感染症。
3.2.24		effusion of the dorsum of the	足發背	びまん性腫脹および炎症を伴う足背部の急性化膿性感染症。
3.2.25		carbuncle	有頭疽	膿排出および死亡組織の脱落のため複数の開口部を伴う肌膚および皮下組織の壊死性感染症。
3.2.26		suppurative osteomyelitis	附骨疽	組織の局所的な死亡および分離を現す、骨の化膿性炎症性疾患。
3.2.27		suppurative	環跳疽	股関節の化膿性炎症。
3.2.28		digital gangrene	脫疽	四肢の壊疽。特に血栓性血管炎を表す。
3.2.29		deep multiple abscess	流注	二次性の癰。通常、多発性、深部局在、原発病変から遠位である。転移性癰とも呼ばれる。
3.2.30		suppurative parotitis	發頤	化膿に関連する耳下腺炎。
3.2.31	丹毒; 火丹	erysipelas	丹毒	強い局所発赤を特徴とする肌膚の急性感染。
3.2.31	丹毒; 火丹	erysipelas	火丹	強い局所発赤を特徴とする肌膚の急性感染。
3.2.32		wandering erysipelas	赤遊丹	新生児における丹毒の一種で、体幹から四肢へ、または四肢から体幹への病変位置の変化を特徴とする。
3.2.33	流痰; 骨癆	flowing phlegm	流痰	特に結核による、骨および関節の慢性化膿性感染。骨関節結核としても知られる。
3.2.33	流痰; 骨癆	flowing phlegm	骨癆	特に結核による、骨および関節の慢性化膿性感染。骨関節結核としても知られる。
3.2.34		scrofula	瘰癧	頸部リンパ節の慢性炎症。
3.2.35		acute mastitis	乳癰	乳房の急性化膿性炎症。
3.2.36		mastitis during pregnancy	内吹乳癰	妊娠中に発生する乳房の炎症。
3.2.37		postpartum mastitis	外吹乳癰	分娩後に発生する乳房の炎症。
3.2.38		phlegmonous mastitis	乳發	乳房の重篤な化膿性炎症で、壊死、癰形成をもたらす。
3.2.39	乳癆; 乳痰	mammary	乳癆	乳房の結核。
3.2.39	乳癆; 乳痰	mammary	乳痰	乳房の結核。
3.2.40		gynecomastia	乳癰	小児および成人男性における乳房過剰発達。

3.2.41		mammary fistula	乳漏		乳房の皮膚表面または乳輪に開通し膿を滲出する異常排出。
3.2.42		thelorrhagia	乳衄		乳首からの出血。
3.2.43		mammary hyperplasia	乳癧		乳腺の良性過形成。
3.2.44		cracked nipple	乳頭皸		乳首または乳輪の痛性の亀裂。
3.2.45		goiter	瘰		前頸部の腫脹を起こす甲状腺肥大。
3.2.46		qi goiter	氣瘰		無痛で触ると軟らかく患者の気とともに腫脹および縮小する甲状腺腫。
3.2.47		fleshy goiter	肉瘰		進行が遅く、軟らかいまたは牛肉様の良性甲状腺腫。主に腺腫様甲状腺腫または嚢胞性甲状腺腫を表す。
3.2.48		stony goiter	石瘰		結節性で石状に固い甲状腺肥大。主に甲状腺癌を表す。
3.2.49		tumor	瘤		持続性で生理学上の用途を持たない新生物。
3.2.50		qi tumor	氣瘤		表面付近の皮下で発生する、多発性で軟性の有蓋性腫瘍に対する用語で、押すと平坦になり、離すと空気が入っているかのように膨降する。主に神経線維腫を表す。
3.2.51		blood tumor	血瘤		表皮内または皮下の拡張血管からなる血管腫瘍。
3.2.52		sinew tumor	筋瘤		通常脚部の拡張および蛇行静脈。
3.2.53		fleshy tumor	肉瘤		皮下脂肪組織の腫瘍。
3.2.54		bone tumor	骨瘤		良性または悪性の骨腫瘍。
3.2.55		rocky	巖		外見および感触が岩状の、体表上に発生する悪性腫瘍。
3.2.56		cocoon lip	繭唇		唇部に発生する悪性腫瘍。
3.2.57		cervical malignancy with cachexia	失榮		頸部リンパ節の悪性腫瘍が進行した症例で、原発性または転移性のいずれかであり、悪液質が付随する。
3.2.58		rocky mass in the breast/breast cancer	乳巖		乳房部に発生する悪性腫瘍。
3.2.59		eruption	疹		粟粒状の、目視で確認できる肌膚の発疹病変。発赤および隆起を特徴とする。
3.2.60		macula	斑疹		色により周囲の肌膚と識別可能な、斑または部位の一般用語
3.2.61		papule	丘疹		小型で円錐形の皮膚の挙上。
3.2.62		pustule	膿疱		小型で境界明確な皮膚の挙上で、膿を内包する。
3.2.63		scab	痂		体の浸出液により形成される創の外層。
3.2.64		subcutaneous node	結核		皮下に形成される円形の腫瘤の一般用語。
3.2.65		polyp	息肉		粘膜由来の突出した増殖。
3.2.66		fistula	漏		膿瘍または中空器官から体表につながる異常な開通。
3.2.67		herpes simplex	熱瘡		肌膚および粘膜辺縁に液体を含む小胞を発症し、同時に発熱を伴う。通常は単純疱疹を表す。
3.2.68	蛇丹; 蛇串瘡; 纏腰火丹; 纏腰蛇丹; 七葉蛇丹	herpes zoster	蛇丹		集簇性小胞の帯状分布に沿った劇痛を特徴とする、急性発疹性疾患。
3.2.68	蛇丹; 蛇串瘡; 纏腰火丹; 纏腰蛇丹; 七葉蛇丹	herpes zoster	蛇串瘡		集簇性小胞の帯状分布に沿った劇痛を特徴とする、急性発疹性疾患。
3.2.68	蛇丹; 蛇串瘡; 纏腰火丹; 纏腰蛇丹; 七葉蛇丹	herpes zoster	纏腰火丹		集簇性小胞の帯状分布に沿った劇痛を特徴とする、急性発疹性疾患。
3.2.68	蛇丹; 蛇串瘡; 纏腰火丹; 纏腰蛇丹; 七葉蛇丹	herpes zoster	纏腰蛇丹		集簇性小胞の帯状分布に沿った劇痛を特徴とする、急性発疹性疾患。
3.2.68	蛇丹; 蛇串瘡; 纏腰火丹; 纏腰蛇丹; 七葉蛇丹	herpes zoster	火帯瘡		集簇性小胞の帯状分布に沿った劇痛を特徴とする、急性発疹性疾患。
3.2.69		verruca	疣		肌膚上の角化突起。疣贅としても知られる。
3.2.70		verruca vulgaris	疣目		表面が角化した、小葉状過形成上皮病変。通常手甲部、指あるいは頭部に発生する。
3.2.71	鶏眼; 肉刺	corn	鶏眼		肌膚の角化肥厚で、真皮に食い込む円錐状腫瘤を形成する。
3.2.71	鶏眼; 肉刺	corn	肉刺		肌膚の角化肥厚で、真皮に食い込む円錐状腫瘤を形成する。
3.2.72		fat sore	肥瘡		たむしの一つで黄色の茶碗形の痂皮形成を特徴とする。黄癬を表す。
3.2.73		tinea manuum	鵝掌風		手に罹患したたむし。角化症を伴う慢性皮膚炎を表す。
3.2.74		tinea versicolor	紫白癜風		すべての大きさ・形状の多発性黄斑を特徴とする非炎症性疾患。色素沈着した肌膚の白斑から、肌膚色が薄い皮膚の黒ずんだまたは褐色斑まで、多様である。通常、頸部、体幹、発汗しやすい四肢末端にみられる。
3.2.75	白癜風; 白駁風	vitiligo	白癜風		体の多様な部位に平滑な白斑が発現する肌膚疾患。
3.2.75	白癜風; 白駁風	vitiligo	白駁風		体の多様な部位に平滑な白斑が発現する肌膚疾患。
3.2.76	疥瘡; 疥癩	scabies	疥瘡		ダニによる伝染性肌膚疾患。
3.2.76	疥瘡; 疥癩	scabies	疥癩		ダニによる伝染性肌膚疾患。

3.2.77	癩疹; 風癩疹	urticaria	癩疹		赤色または蒼白の膨疹を現す、間欠性のアレルギー性肌膚疾患。強い搔痒を伴う。
3.2.77	癩疹; 風癩疹	urticaria	風癩疹		赤色または蒼白の膨疹を現す、間欠性のアレルギー性肌膚疾患。強い搔痒を伴う。
3.2.78		dry ringworm	乾癬		境界明確な肌膚肥厚、亀裂、落屑を起す搔痒を特徴とする慢性肌膚疾患。主に慢性湿疹または神経皮膚炎を表す。
3.2.79		oxhide lichen	牛皮癬		牛皮革に似た、痒みのある苔癬様の発疹の斑点を特徴とする慢性肌膚疾患。神経皮膚炎を表す。
3.2.80	白花; 松皮癬	psoriasis	白花		松の木の皮に似た、円形、境界明確、紅斑性、乾燥、落屑斑、銀白色に被覆、葉状落屑を現す慢性肌膚疾患。
3.2.80	白花; 松皮癬	psoriasis	松皮癬		松の木の皮に似た、円形、境界明確、紅斑性、乾燥、落屑斑、銀白色に被覆、葉状落屑を現す慢性肌膚疾患。
3.2.81		seborrheic dermatitis	面遊風		皮脂過剰分泌を現す慢性肌膚疾患。
3.2.82	粉刺; 酒刺	acne	粉刺		顔面、胸部、背部に発生する毛包および皮脂腺の慢性炎症性疾患。
3.2.82	粉刺; 酒刺	acne	酒刺		顔面、胸部、背部に発生する毛包および皮脂腺の慢性炎症性疾患。
3.2.83		alopecia	油風		突発的な毛髪の変状喪失を現す疾患で、通常は境界明瞭な範囲で発生する。円形脱毛症を表す。
3.2.84		erythema multiforme	貓眼瘡		紅斑性斑状、水疱性、丘疹または小胞性発疹の突発を特徴とする急性自己限定炎症性肌膚疾患。
3.2.85		erythema nodosum	瓜藤癩		若年女性にきわめてよくみられる肌膚疾患で、一時的な炎症性結節の病変発症を特徴とする。通常は圧痛があり多発性で両側性であり、主に脛骨前部に局在する。
3.2.86		skin impediment	皮膚癩		肌膚の硬化および肥厚化を特徴とする疾患で、後期には萎縮が後続する。強皮症を表す。
3.2.87		hemorrhoid	痔		表または裏の直腸静脈叢の静脈の静脈瘤拡張。
3.2.88		internal hemorrhoid	内痔		表の直腸静脈叢の静脈の静脈瘤拡張。櫛状線近位に位置する。
3.2.89		external hemorrhoid	外痔		裏の直腸静脈叢の静脈の静脈瘤拡張。櫛状線遠位に位置する。
3.2.90	肛漏; 肛瘻	anal fistula	肛漏		肛門付近の表皮に開口した漏。直腸とつながっている場合がある。
3.2.90	肛漏; 肛瘻	anal fistula	肛瘻		肛門付近の表皮に開口した漏。直腸とつながっている場合がある。
3.2.91		prolapse of the rectum	脱肛		肛門を通った直腸粘膜の突出。
3.2.92		polyp of rectum	息肉痔		直腸粘膜由来の突出性増殖。
3.2.93		abscess of the testicle	子癰		精巣および精巣上体の炎症性感染症。局所的疼痛および腫脹を特徴とする。精巣上体炎および精巣炎を表す。
3.2.94		scrotal abscess	囊癰		精巣を除く陰囊の急性発熱性炎症。発赤、腫脹、悪寒および発熱と関連する陰囊の疼痛を特徴とし、非常に激しい痛みを伴う陰囊の肌膚の硬化および光沢が後続する。
3.2.95		hydrocele	水疝		精巣の津の蓄積。
3.2.96	凍瘡; 凍風	frostbite	凍瘡		腫脹、しびれ、チアノーゼ、水疱または潰瘍を現す病変。局所的な気血の滞留を起こす寒への曝露による。
3.2.96	凍瘡; 凍風	frostbite	凍風		腫脹、しびれ、チアノーゼ、水疱または潰瘍を現す病変。局所的な気血の滞留を起こす寒への曝露による。
3.2.97	破傷風; 金瘡瘰	tetanus	破傷風		持続性の筋肉硬直を特徴とする疾患。破傷から体内に入った風邪毒による。
3.2.97	破傷風; 金瘡瘰	tetanus	金瘡瘰		持続性の筋肉硬直を特徴とする疾患。破傷から体内に入った風邪毒による。
3.2.98		green-blue snake toxin sore	青蛇毒		血栓形成に付随する表皮静脈の炎症。表在性血栓性静脈炎を表す。
3.2.99		thigh swelling	股腫		深部に局在する静脈の血栓形成および炎症。深部血栓性静脈炎を表す。
3.2.100	狐惑; 狐惑病	fox-creeper disease	狐惑		口、咽喉頭、生殖器のびらん、眼充血、黒色の眼角を特徴とする疾患。ベーチェット症候群に類似。
3.2.100	狐惑; 狐惑病	fox-creeper disease	狐惑病		口、咽喉頭、生殖器のびらん、眼充血、黒色の眼角を特徴とする疾患。ベーチェット症候群に類似。
3.3.0		Gynecology and Obstetrics	婦産科; 産婦人科		
3.3.1		bimonthly menstruation	並月		2ヶ月に1回の月経。しかし無症状。
3.3.2	居經; 季經	trimonthly menstruation	居經		3ヶ月に1回の月経。しかし無症状。
3.3.2	居經; 季經	trimonthly menstruation	季經		3ヶ月に1回の月経。しかし無症状。
3.3.3		annual menstruation	避年		1年に1回の月経。しかし無症状。
3.3.4		five unwomanlinesses	五不女		女性の不妊症の5形態。
3.3.5	激經; 垢胎	menstruation during pregnancy	激經		妊娠初期の定期的な月経。胎児が十分発育すれば自然に停止する。

3.3.5	激經； 垢胎	menstruation during pregnancy	垢胎		妊娠初期の定期的な月経。胎児が十分発育すれば自然に停止する。
3.3.6		labor	臨産		子の出産の過程。子宮から臍を経由した、胎児、胎盤、子宮内膜の排出を含める。
3.3.7	試胎； 試月	testing labor	試胎		妊娠第8ヵ月または9ヵ月に起こる、短時間の発生の後に止まる腹痛。
3.3.7	試胎； 試月	testing labor	試月		妊娠第8ヵ月または9ヵ月に起こる、短時間の発生の後に止まる腹痛。
3.3.8		false labor	弄胎		妊娠満期にかけて発生する、背部痛を伴わない間欠性の下腹部痛。煩胎としても知られる。
3.3.9		early leakage of amniotic fluid	試水		羊水は漏出するが出産が後続しないことを特徴とする状態。
3.3.10		injured labor	傷産		外傷による、満期以前の分娩。
3.3.11		puerperium	産褥		出産から子宮が正常な状態に戻るまでの期間。
3.3.12		menstrual disease	月経病		月経の間隔、期間、経血量、経血の色、質の異常、非生理的な月経停止、月経期間中または更年期前後の症状発現を特徴とする疾患の一般用語。月経異常と同義。
3.3.13		menstrual irregularities	月経不調		不定期な月経および他の月経愁訴(月経の期間、経血量、経血の色、質の異常など)に対する一般用語。
3.3.14	月経先期； 經行先期； 經早	advanced menstruation	月経先期		2周期を超えて連続した、予定より1週間以上早い月経。
3.3.14	月経先期； 經行先期； 經早	advanced menstruation	經行先期		2周期を超えて連続した、予定より1週間以上早い月経。
3.3.14	月経先期； 經行先期； 經早	advanced menstruation	經早		2周期を超えて連続した、予定より1週間以上早い月経。
3.3.15	月経後期； 經行後期； 經遅	delayed menstruation	月経後期		2周期を超えて連続した、予定より1週間以上遅れた月経。
3.3.15	月経後期； 經行後期； 經遅	delayed menstruation	經行後期		2周期を超えて連続した、予定より1週間以上遅れた月経。
3.3.15	月経後期； 經行後期； 經遅	delayed menstruation	經遅		2周期を超えて連続した、予定より1週間以上遅れた月経。
3.3.16	月経先後無 定期； 經亂	menstruation at irregular intervals	月経先後無 定期		予定より1週間を超えて前後した、不定周期の月経。
3.3.16	月経先後無 定期； 經亂	menstruation at irregular intervals	經亂		予定より1週間を超えて前後した、不定周期の月経。
3.3.17	月経過少； 月經減少	scant menstruation	月経過少		一定周期であるが経血量が通常より少ない月経。
3.3.17	月経過少； 月經減少	scant menstruation	月經減少		一定周期であるが経血量が通常より少ない月経。
3.3.18	月経過多； 經水過多； 月水過多	profuse menstruation	月経過多		一定周期であるが過多の子宮出血。
3.3.18	月経過多； 經水過多； 月水過多	profuse menstruation	經水過多		一定周期であるが過多の子宮出血。月経過多と同義。
3.3.18	月経過多； 經水過多； 月水過多	profuse menstruation	月水過多		一定周期であるが過多の子宮出血。月経過多と同義。
3.3.19		flooding and spotting	崩漏		定期の月経期間外に発生した、大量の子宮出血または間断のない漏血の突発。不正子宮出血と同義。
3.3.20	血崩； 崩中	flooding	血崩		突然の子宮からの大量出血。不正子宮出血と同義。
3.3.20	血崩； 崩中	flooding	崩中		突然の子宮からの大量出血。不正子宮出血と同義。
3.3.21		spotting	漏下		少量であるが持続的な子宮出血。子宮漏血と同義。
3.3.22		prolonged menstruation	經期延長		一定周期であるが過度に長期の月経。子宮漏血と同義。
3.3.23		intermenstrual bleeding	經間期出血		定期の月経期間外に発生した子宮出血。
3.3.24	閉經； 經閉	amenorrhea	閉經		思春期に発生する月経不全または初潮後3か月を超えた月経異常停止。
3.3.24	閉經； 經閉	amenorrhea	經閉		思春期に発生する月経不全または初潮後3か月を超えた月経異常停止。
3.3.25	痛經； 月經 痛； 經行腹 痛	dysmenorrhea	痛經		月経期間前後または期間中の下腹部痛または下背部の関連痛。
3.3.25	痛經； 月經 痛； 經行腹 痛	dysmenorrhea	月經痛		月経期間前後または期間中の下腹部痛または下背部の関連痛。
3.3.25	痛經； 月經 痛； 經行腹 痛	dysmenorrhea	經行腹痛		月経期間前後または期間中の下腹部痛または下背部の関連痛。
3.3.26	倒經； 逆經	inverted menstruation	倒經		鼻血または嘔血など、月経期間中の膣以外の部位からの出血。